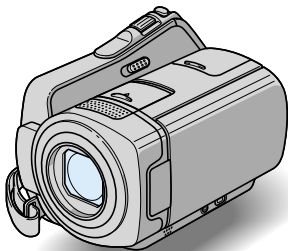
SONY

3-286-670-**01**(1)

デジタルビデオカメラレコーダー

HANDYCAM®

ハンディカム ハンドブック

DCR-SR65

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

「ハンディカム ハンドブック」(本書)では

本機の詳細な活用方法を説明しています。「取扱説明書」(別冊)もあわせてご覧ください。

本機で記録した画像をパソコンで扱う方法は

付属のCD-ROM収録の「PMB ガイド」をご覧ください。

本機で使える"メモリースティック"について

• 動画撮影時は、512MB以上の次のマークが付いた"メモリースティック PRO デュオ"の使用をおすすめします。
  - MEMORY STICK PRO DUO("メモリースティック PRO デュオ")*
  - MEMORY STICK PRO-HG DUO("メモリースティック PRO-HG デュオ")

* Mark2表示があるものとないもの両方使えます。

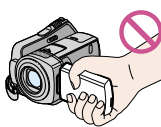
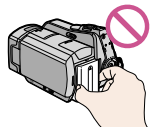
• "メモリースティック PRO デュオ"1枚あたりの撮影可能時間は、57ページをご覧ください。
• 使用可能な"メモリースティック"の最新情報につきましてはホームページ上の「メモリースティック対応表」をご確認ください(最後のページ)。

"メモリースティック PRO デュオ"/"メモリースティック PRO-HG デュオ"(本機で使用するサイズ)

"メモリースティック"(本機では使用できません)

• 本書では、"メモリースティック PRO デュオ"/"メモリースティック PRO-HG デュオ"を「"メモリースティック PRO デュオ"」と表現しています。
• 上記以外のメモリーカードは使用できません。
• "メモリースティック PRO デュオ"は"メモリースティック PRO"対応機器でのみ使用可能です。
• "メモリースティック PRO デュオ"本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどは貼らないでください。
• "メモリースティック PRO デュオ"を"メモリースティック PRO"対応機器で使用する場合、"メモリースティック PRO デュオ"をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。

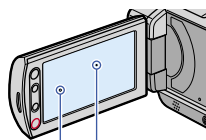
故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

• 次の部分をつかんで持たないでください。また、端子カバーをつかんで持たないでください。

液晶画面　　バッテリー

• 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください(88ページ)。
• 本機の 🎞(動画)ランプ/📷(静止画)ランプ(17ページ)やACCESSランプ(25ページ)が点灯、点滅中に次のことをすると、メディアが壊れたり、記録した映像が失われる場合があります。また、本機の故障の原因になります。
  - "メモリースティック PRO デュオ"を取り出す
  - 本機からバッテリーやACアダプターを取りはずす
  - 本機に衝撃や振動を与える
• 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
• ACアダプターをハンディカムステーション

から抜くときは、DCプラグとハンディカムステーションを持って取りはずしてください。
- 本機をハンディカムステーションに取り付けたり、取りはずすときは、必ず本機の電源を切ってください。
- 本機をハンディカムステーションに取り付けて使うとき、ケーブル類はハンディカムステーション側の端子につないでください。ハンディカムステーションと本機の両方につながないでください。

メニュー項目、液晶画面およびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目などは、その撮影/再生条件では使えません（同時に選べません）。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

黒い点

白や赤、青、緑の点

- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものと異なります。
- メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
- 本書では、本機のハードディスク、"メモリースティック PRO デュオ"を「メディア」といいます。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カールツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイス レンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイス レンズとしての品質を維持しています。

* Modulation（モジュレーション） Transfer（トランスファー） Function（ファンクション）の略。コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

ハードディスクハンディカム取り扱い上のご注意

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。画像データはパソコンを使ってDVD-Rなどのディスクに保存することをおすすめします(36ページ)。ビデオ、DVD/HDDレコーダーで画像データを保存することもできます(46ページ)。

本機に振動や衝撃を与えないでください

- 本機のハードディスクが認識されなくなったり、記録や再生ができなくなることがあります。
- 特に撮影/再生中は衝撃を与えないでください。撮影終了後もACCESSランプが点灯し続けている間は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- ショルダーベルト(別売り)を使用中は、本機を物にぶつけないようにしてください。
- 大音量の場所では本機を使用しないでください。本機のハードディスクが認識されなくなったり、記録できなくなることがあります。

落下検出について

- 落下による衝撃から内蔵ハードディスクを保護するため、本機は[落下検出]機能(66ページ)を搭載しています。そのため、本機が落下状態になったり、無重力状態になると、ハードディスク保護のための動作音が録音されることがあります。また、繰り返し落下状態を検出した場合は、撮影や再生が停止することがあります。

バッテリー /電源アダプターに関するご注意

- バッテリーやACアダプターは、POWERスイッチを「OFF (CHG)」にしてから取りはずしてください。

本機の温度に関するご注意

- 本機の温度が高すぎたり、低すぎたりすると、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面にメッセージが表示されます(80ページ)。

パソコンと接続したときのご注意

- パソコンから本機のハードディスクをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。

高地などでの使用に関するご注意

- 気圧の低い場所(海抜3,000メートル以上)では本機の電源を入れないでください。ハードディスクを破損する恐れがあります。

本機の廃棄/譲渡に関するご注意

- 本機で[メディア初期化](52ページ)やフォーマットを行っても、ハードディスク内のデータは完全には消去されないことがあります。本機を譲渡するときは[⊖ データ消去](53ページ)を行って、ハードディスク内のデータの復元を困難にすることをおすすめします。本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

画像が正しく記録/再生されないときは[メディア初期化]してください

- 長期間、画像の撮影/消去を繰り返していると、本機のメディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)されて、画像が正しく記録/保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存(36ページ)したあと、[メディア初期化](52ページ)を行ってください。
フラグメンテーション ☞ 用語集(98ページ)へ

目次

本機で楽しむために

準備する

撮る/見る

編集する

記録メディアを使いこなす

本機の設定を変える

困ったときは

その他

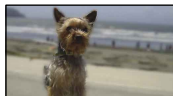
各部のなまえ・用語集・索引

「やりたいこと」から探す目次

ゴルフのスイングをチェックしたい

ゲレンデや浜辺できれいに撮りたい

花をアップでくっきり撮りたい

ステージ上の子供の顔がライトで白くなってしまう

画面左の犬にピントを合わせたい

花火をきれいに撮りたい

暗い部屋で子供の寝顔をきれいに撮りたい

使いかたの流れ

本機は、動画/静止画ごとに記録先メディア（内蔵ハードディスク、"メモリースティック PRO デュオ"）を設定できます（20ページ）。
設定したメディアに、記録/再生/編集操作が有効になります。

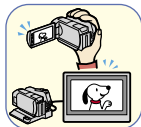
▶ 準備する（12ページ）。

■ **メディアを設定する（20ページ）。**

▶ 本機で撮影する（25ページ）。

▶ 再生する。

■ **本機の液晶画面で見る（29ページ）。**

■ **テレビにつないで見る（34ページ）。**

▶ 撮影した画像を保存する。

■ **ハードディスクから"メモリースティック PROデュオ"に画像をダビング/コピーする（41ページ）。**

■ **パソコンを使ってDVDに保存する（36ページ）。**

■ **パソコンに取り込む（36ページ）。**

■ **他機器へダビングする（46ページ）。**

▶ 画像を削除する。

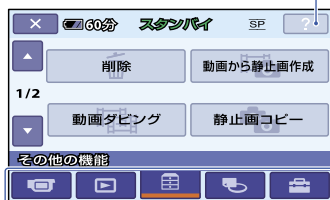
本機のメディアがいっぱいになると、新しい画像を撮影できなくなります。パソコンやDVDに保存済みのデータはメディアから削除しましょう。削除してできたメディアの空き領域に再び画像を記録できます。

■ **画像を選んで削除する（38ページ）。**

■ **すべての画像を削除する（[メディア初期化]、52ページ）。**

「ホーム」と「オプション」
—2種類のメニューで本機を使いこなす！

「ホームメニュー」は、操作の出発点

（ヘルプ）
項目の内容を知りたいときに使います（10ページ）

カテゴリー

▶ ホームメニューのカテゴリーと項目

（撮影）カテゴリー

項目	ページ
動画*	26
静止画*	26

（画像再生）カテゴリー

項目	ページ
V.インデックス*	30
インデックス*	31
インデックス*	31
プレイリスト	44

（その他の機能）カテゴリー

項目	ページ
削除*	38
動画から静止画作成	40
動画ダビング	41
静止画コピー	42
編集	43
プレイリスト編集	44

項目	ページ
印刷	49
USB接続	85

（メディア管理）カテゴリー

項目	ページ
動画メディア設定*	20
静止画メディア設定*	20
メディア情報	51
メディア初期化*	52
管理ファイル修復	54

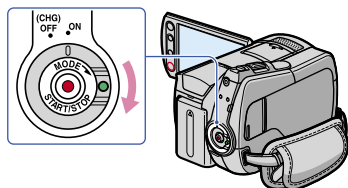
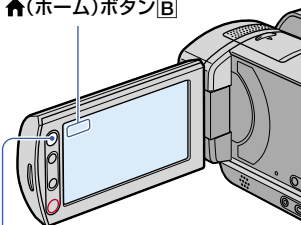
（設定）カテゴリー

お買い上げ時の設定の変更など、さまざまな設定ができます（55ページ）。*
（設定）カテゴリーで使える項目について詳しくは、56ページをご覧ください。

* かんたん操作（22ページ）中も設定できます。

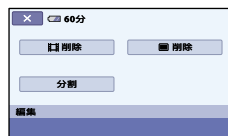
ホームメニューの使いかた

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを矢印の方向にずらして、本機の電源を入れる。

2 (ホーム)ボタンA(またはB)を押す。

3 希望のカテゴリーをタッチする。

例) (その他の機能)カテゴリーのとき

4 希望の項目をタッチする。

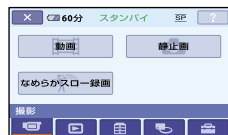
例)[編集]のとき

5 本機の表示にしたがって設定する。

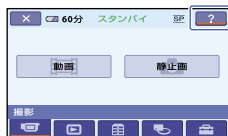
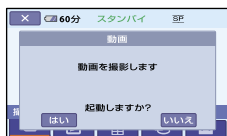
ホームメニュー画面を消すには

[×] をタッチする。

▶ ホームメニューの各項目を見るには—ヘルプ

1 (ホーム)ボタンを押す。

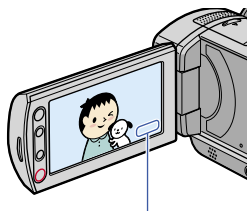
ホームメニューが表示されます。

2 [?](ヘルプ)をタッチする。

[?](ヘルプ)の下辺がオレンジ色に変わります。

3 内容を知りたい項目をタッチする。

タッチした項目の内容が表示されます。
その項目を実行するには[はい]、実行しないときには[いいえ]をタッチしてください。

ヘルプを解除するには

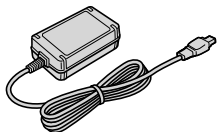
手順2で[?](ヘルプ)をもう1度タッチする。

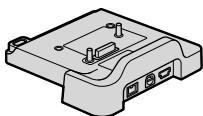
オプションメニューを使うには

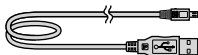
撮影、再生中など、その状況で使える機能を表示して、気軽に設定できます。詳しくは67ページをご覧ください。

(オプション)

準備1：付属品を確かめる

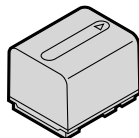
箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
（　）内は個数。

ACアダプター（1）（13ページ）

電源コード（1）（13ページ）

ハンディカムステーション（1）（13ページ）

A/V接続ケーブル（1）（34、46ページ）

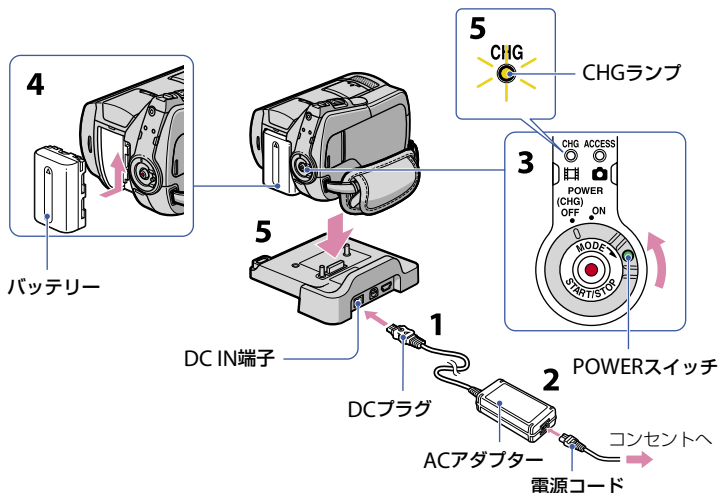
USBケーブル（1）（49ページ）

ワイヤレスリモコン（1）（95ページ）

ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

リチャージャブルバッテリーパック
NP-FH40（1）（13、87ページ）

CD-ROM「Handycam Application Software」（1）
- 「Picture Motion Browser」（ソフトウェア）
- 「PMB ガイド」
- 「ハンディカム ハンドブック」（本書）

取扱説明書（1）

保証書（1）

準備2：バッテリーを充電する

専用の"インフォリチウム"バッテリー（Hシリーズ）（87ページ）を本機に取り付けて充電します。

ご注意

- "インフォリチウム"バッテリー（Hシリーズ）以外は使えません。

1 DCプラグの▲マークを上にして、ハンディカムステーションのDC IN端子につなぐ。

2 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

3 POWERスイッチを「OFF (CHG)」（お買い上げ時の設定）にする。

4 バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして取り付ける。

5 本機をハンディカムステーションに図の向きで奥まで確実に取り付ける。

CHGランプが点灯し、充電が始まります。

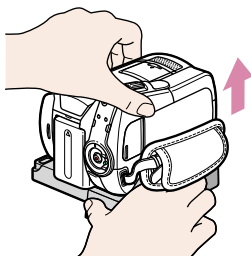
CHGランプが消え、充電が終わったら（満充電）、本機をハンディカムステーションから取りはずしてください。

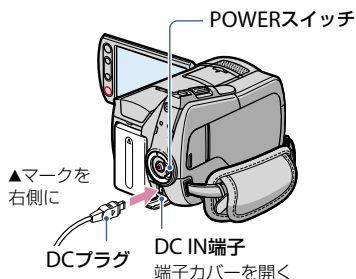
- 本機をハンディカムステーションに取り付けるときは、本機のDC IN端子のカバーを閉じてください。

ご注意

- ACアダプターを抜くときは、ハンディカムステーションとDCプラグを持って抜いてください。

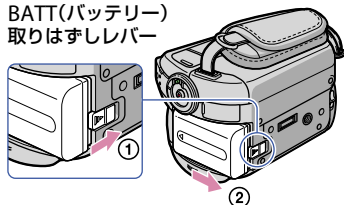
本機をハンディカムステーションから取りはずすには

POWERスイッチを「OFF (CHG)」にして、本機とハンディカムステーションを持って取りはずす。

ACアダプターのみで充電するには

POWERスイッチを「OFF (CHG)」にした状態で、本機のDC IN端子に直接ACアダプターをつないで充電する。

ご注意

- ACアダプターを抜くときは、本機とDCプラグを持って抜いてください。

バッテリーを取りはずすには

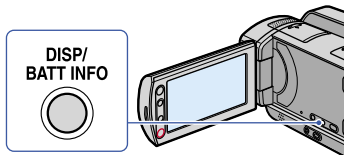
POWERスイッチを「OFF (CHG)」にする。
BATT(バッテリー)取りはずしレバーをずらしながら、バッテリーを取りはずす。

ご注意

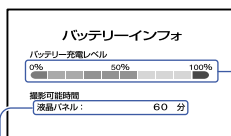
- バッテリーやACアダプターは、本機の(動画)ランプ/(静止画)ランプ(17ページ)/ACCESSランプ(25ページ)が点灯していないことを確認してから取りはずしてください。
- 長い時間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管してください(88ページ)。

コンセントからの電源で使うには

充電するときと同じ接続で使う。
バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

バッテリーの残量を確認するには

POWERスイッチを「OFF (CHG)」にしたあと、DISP/BATT INFOボタンを押す。

しばらくすると、バッテリーの情報が約7秒間表示されます。情報が表示されている間にボタンを押すと、最大20秒まで表示を延長できます。

およそのバッテリー残量

およその撮影可能時間

充電時間（満充電）

使い切った状態からのおよその時間（分）。

バッテリー型名	満充電時間
NP-FH40（付属）	125
NP-FH50	135
NP-FH70	170
NP-FH100	390

撮影可能時間

満充電からのおよその時間（分）。

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-FH40（付属）	90 105	45 50
NP-FH50	105 125	50 60
NP-FH70	230 270	115 125
NP-FH100	515 600	255 285

- 上段：メディアがハードディスクに設定されているとき
  下段：メディアが"メモリースティック PRO デュオ"に設定されているとき

* 実撮影時とは、録画スタンバイ、POWERスイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

ご注意

- それぞれの時間は、次の条件によるものです。
  - 録画モード：[SP]
  - 液晶画面バックライト：「入」

再生可能時間

満充電からのおよその時間（分）。

バッテリー型名	再生可能時間*
NP-FH40（付属）	120 140
NP-FH50	140 165
NP-FH70	300 350
NP-FH100	680 785

- 上段：メディアがハードディスクに設定されているとき
  下段：メディアが"メモリースティック PRO デュオ"に設定されているとき

* 液晶画面バックライトが「入」のとき

バッテリーについて

- バッテリーを取りはずすときは、POWERスイッチを「OFF (CHG)」にして（動画）ランプ/（静止画）ランプ（17ページ）/ACCESSランプ（25ページ）が消えてから行ってください。
- 次のとき、充電中のCHGランプが点滅したり、バッテリーインフォ（14ページ）が正しく表示されないことがあります。
  - バッテリーを正しく取り付けていないとき
  - バッテリーが故障しているとき
  - バッテリーが劣化しているとき（バッテリーインフォ表示のみ）
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機やハンディカムステーションのDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。
- ビデオライト（別売り）を取り付けたときは、バッテリーパックNP-FH70/FH100のご使用をおすすめします。
- NP-FH30は撮影/再生可能な時間が短いため、本機での使用はおすすめできません。

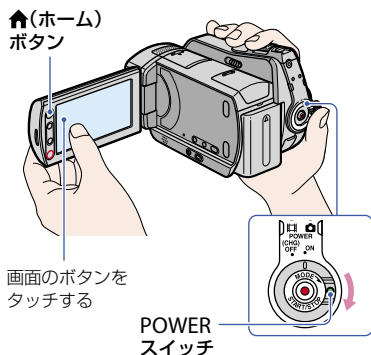
充電/撮影/再生可能時間について

- 25℃（10 ～ 30℃が推奨）で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備3：電源を入れて日付時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、POWERスイッチを切り換えるたびに[日時あわせ]が表示されます。

1 **緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、本機の電源を入れ、使用するモードのランプを点灯させる。**

(動画)：動画を撮影するとき
(静止画)：静止画を撮影するとき

初めて電源を入れたときは、手順3に進む。

2 **(ホーム) → (設定) → [時計設定] → [日時あわせ]をタッチする。**

[日時あわせ]画面が表示されます。

3 **/ でエリアを選び、[次へ]をタッチする。**

4 **サマータイムを設定し、[次へ]をタッチする。**

日本国内で使用するときは[切]を選ぶ。

5 **/ で[年]をあわせる。**

6 **/ で[月]に移動し、/ であわせる。**

7 **同様に[日]、時、分をあわせ、[次へ]をタッチする。**

8 **設定された日付時刻を確認し、OK をタッチする。**

設定した日時から時計が動き始めます。
2037年まで設定できます。
真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

電源を切るには

POWERスイッチを「OFF (CHG)」にする。

ご注意

- **3か月**近く使わないでおくと、内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されま

す。内蔵の充電式電池を充電してから設定し直してください(90ページ)。

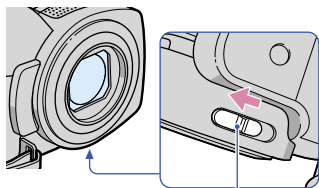
- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかります。その間、本機の操作はできません。
- お買い上げ時は、電源を入れて何もしない状態が約5分続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます([自動電源オフ]、66ページ)。

ちょっと一言

- 日付時刻は撮影時には表示されません。自動的にメディアに記録され、再生時に表示させることができます([日時/データ表示]、61ページ)。
- 世界時刻表は84ページをご覧ください。
- サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機で[サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。
- 反応するボタンがずれていると感じるときは、タッチパネルの調節(キャリブレーション)をしてください(89ページ)。

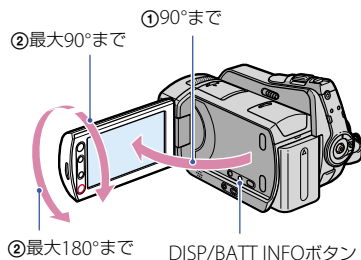
準備4：撮影前の調節をする

LENS COVER(レンズカバー)を開ける

LENS COVERスイッチを動かして、LENS COVER(レンズカバー)を開けます。

ちょっと一言

- 撮影が終わったときや画像を再生するときは、LENS COVERを閉めてください。

液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を90°まで開き(①)、見やすい角度に調節する(②)。

液晶画面バックライトを暗くしてバッテリーを長持ちさせるには

DISP/BATT INFOボタンを が表示されるまで数秒間押したままにする。
明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせるときに効果的です。録画される画像に影響ありません。
解除するには、 が消えるまでDISP/BATT INFOボタンを押したままにします。

ご注意

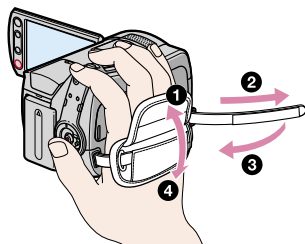
- 液晶画面を開閉するときや、角度を調節するときに、液晶画面横のボタンを誤って押さないようにご注意ください。

ちょっと一言

- 液晶画面を180°回転させたまま、外側に向けて本体に収められます。本機で画像を再生するときに便利です。
- 液晶画面の明るさは、(ホーム)→ (設定)→[音/画面設定]→[パネル明るさ](63ページ)で調節できます。
- DISP/BATT INFOボタンを押すたびに、バッテリー残量などの情報が表示←→非表示と切り換わります。

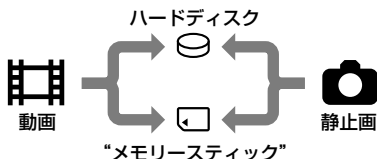
グリップベルトを調整する

グリップベルトを図の順番にしっかりと締め、正しく構える。

準備する

準備5：メディアを設定する

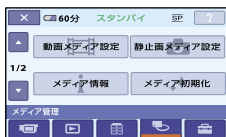
本機は、記録/再生/編集するメディアをハードディスク、または“メモリースティック PRO デュオ”に設定できます。動画、静止画ごとにメディア設定します。お買い上げ時は、動画、静止画ともにハードディスクに設定されています。

ハードディスク

動画　　**静止画**

“メモリースティック”

ご注意

- 設定したメディアで画像が記録、再生、編集されます。別のメディアに変更したい場合は、メディアを再設定してください。
- [SP]画質（お買い上げ時の設定）のとき、撮影可能時間は次の通りです。
  - 内蔵ハードディスクのとき：約14時間30分
  - ソニー製“メモリースティック PRO デュオ”（4GB）のとき：約1時間20分
- 撮影可能時間は、被写体の状態によって変わります。
- 静止画の撮影可能枚数は、液晶画面で確認してください（96ページ）。

1 （ホーム）→ （メディア管理）をタッチする。

2 動画メディアを設定するには[動画メディア設定]、静止画メディアを設定するには[静止画メディア設定]をタッチする。

メディア設定画面が表示されます。

3 設定するメディアを選択する。

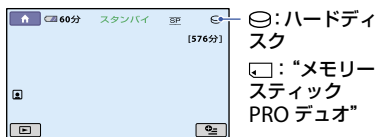
4 [はい] → OK をタッチする。

メディアが切り替わります。

メディア設定を確かめるには

① POWERスイッチを繰り返しずらして、確認したいメディアのランプ（（動画）/（静止画））を点灯する。

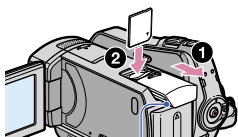
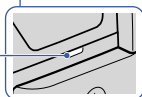
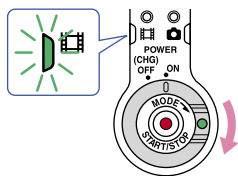
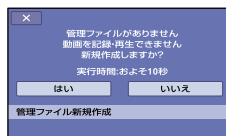
② 画面上のメディアアイコンを確認する。

：ハードディスク

：“メモリースティック PRO デュオ”

“メモリースティック PRO デュオ”を入れる

メディアに[メモリースティック]を設定した場合、“メモリースティック PRO デュオ”を用意します。
本機で使える“メモリースティック”については、2ページをご覧ください。

1 “メモリースティック PRO デュオ”を入れる。

❶ メモリースティック デュオ カバーを矢印の方向に開く。
❷ “メモリースティック PRO デュオ”を正しい向きに、「カチッ」というまで押し込む。
❸ メモリースティック デュオ カバーを閉じる

ACCESSランプ（“メモリースティック PRO デュオ”）

2 動画メディアを[メモリースティック]に設定した場合は、POWERスイッチをずらして、 (動画)ランプを点灯させる。

新しい“メモリースティック PRO デュオ”を入れたときは、液晶画面に[管理ファイル新規作成]画面が表示されます。

3 [はい]をタッチする。

“メモリースティック PRO デュオ”に静止画のみを記録する場合は、[いいえ]をタッチしてください。

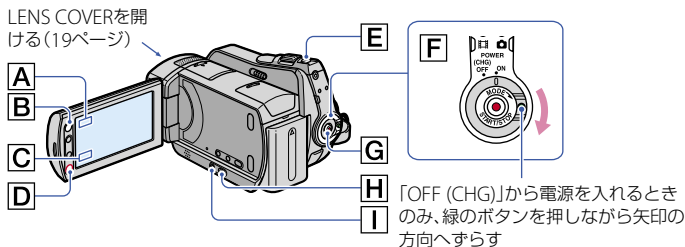
“メモリースティック PRO デュオ”を取り出すには

メモリースティック デュオ カバーを開き、“メモリースティック PRO デュオ”を軽く 1 回押して取り出す。

ご注意

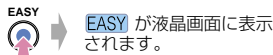
- 撮影中にメモリースティック デュオ カバーを開けないでください。
- 誤った向きで無理に入れると、“メモリースティック PRO デュオ”やメモリースティック デュオ スロット、画像データが破損することがあります。
- 手順**3**で[管理ファイルを新規作成できませんでした　空き容量がたりない可能性があります]と表示されたときは、“メモリースティック PRO デュオ”を初期化してください(52ページ)。初期化すると“メモリースティック PRO デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 出し入れ時には“メモリースティック PRO デュオ”の飛び出しにご注意ください。

かんたんに撮って見る（EASYかんたん操作）

ほとんどの設定を自動でするので、細かい設定をしないで簡単に撮影、再生できます。また、文字も大きく見やすくなります。画像は、設定したメディアに記録されます（20ページ）。

動画を撮る

1 POWERスイッチFを矢印の方向にずらして（動画）ランプを点灯させる。

2 EASYボタンIを押す。

EASY が液晶画面に表示されます。

3 START/STOPボタンG（またはD）を押して撮影を開始する。*

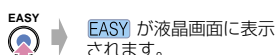
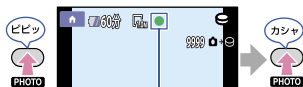
[スタンバイ]→[● 録画]

もう1度押すと、録画ストップ。

静止画を撮る

1 POWERスイッチFを矢印の方向にずらして（静止画）ランプを点灯させる。

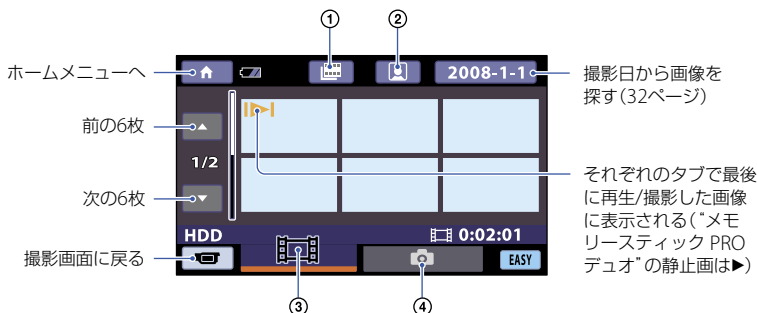
2 EASYボタンIを押す。

EASY が液晶画面に表示されます。

3 PHOTOボタンEを押して撮影する。

軽く押してピント合わせ　点滅→点灯　深く押して撮影

* [録画モード]は[SP]（57ページ）で記録されます。

撮影した動画/静止画を見る

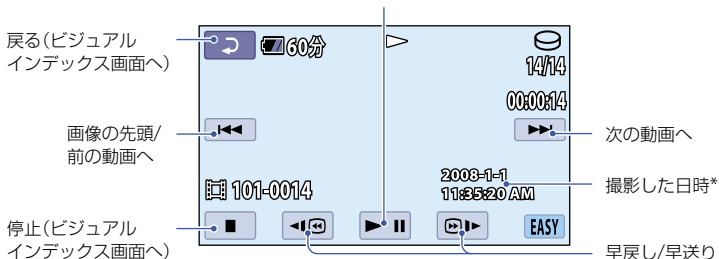
1 POWERスイッチ[F]を矢印の方向にずらして、電源を入れる。

2 ▶(画像再生)ボタン[H](または[C])を押す。

ビジュアルインデックス画面が表示されます(数秒かかります)。

① ▦:フィルムロールインデックス画面を表示する(31ページ)。
② ▣:フェイスインデックス画面を表示する(31ページ)。
③ ▤:動画を表示する。
④ 📷:静止画を表示する。

3 再生を始める。

動画のときは:

▤タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

* [日時/データ表示]は[日付時刻データ](61ページ)で固定されます。

ちょっと一言

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に ◄I◄◄ / ►►I► をタッチするとスロー再生が始まります。
- 動画の音量は、(ホーム)→ (設定)→[音設定]→[音量]をタッチし、− / + で調節します。

静止画のときは：
タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

* [日時/データ表示]は[日付時刻データ](61ページ)で固定されます。

かんたん操作をやめるには

EASYボタン[I]をもう一度押す。液晶画面の EASY 表示が消える。

かんたん操作中のメニュー設定

(ホーム)ボタン[B](または[A])をタッチすると設定可能なメニューが表示されます(9、56ページ)。

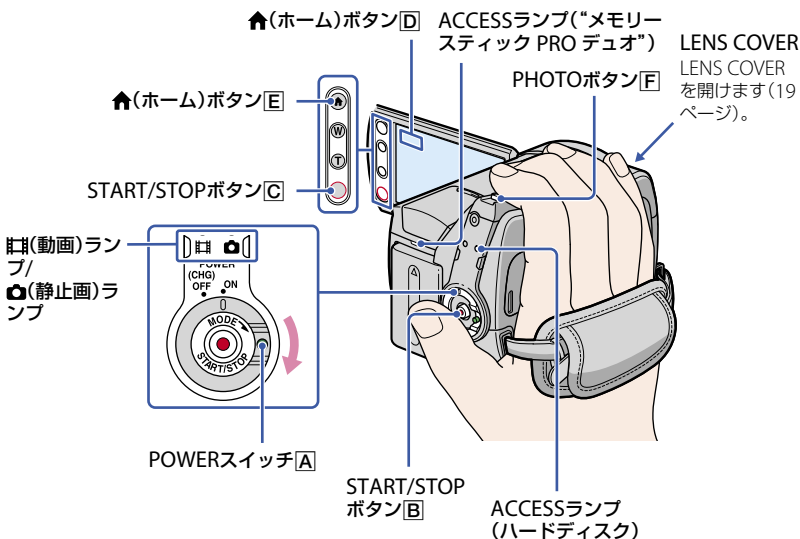
ご注意

- ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります。設定値が固定されるメニュー項目もあります(74ページ)。
- (オプション)メニューは使えません。
- 画像に効果を加えたり、いろいろな設定をしたいときはかんたん操作を解除してください。

かんたん操作中は使えないボタン

ほとんどの機能は自動設定されるため、使えないボタン/機能があります(74ページ)。使えないボタンを押すと、「EASY かんたん操作中は無効です」とメッセージが出ることもあります。

撮る

画像データは、メディア選択で設定したメディアに保存されます（20ページ）。
お買い上げ時は、動画、静止画ともに内蔵ハードディスクに設定されています。

ご注意

- 撮影終了後、ACCESSランプ点灯中、または点滅中は、撮影したデータを記録メディアに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取りはずしたりしないでください。
- 動画の連続撮影可能時間は13時間です。
- 動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。

ちょっと一言

- 撮影可能時間や空き容量などを確認するには、（ホーム）→（メディア管理）→［メディア情報］をタッチする（51ページ）。
- 本機で使える"メモリースティック"については、2ページをご覧ください。

動画を撮る

1 POWERスイッチAを矢印の方向にずらして、(動画)ランプを点灯させる。

2 START/STOPボタンB(またはC)を押す。

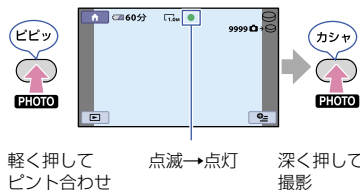
[スタンバイ]→[● 録画]

撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押す。

静止画を撮る

1 POWERスイッチAを矢印の方向にずらして、(静止画)ランプを点灯させる。

2 PHOTOボタンFを押す。

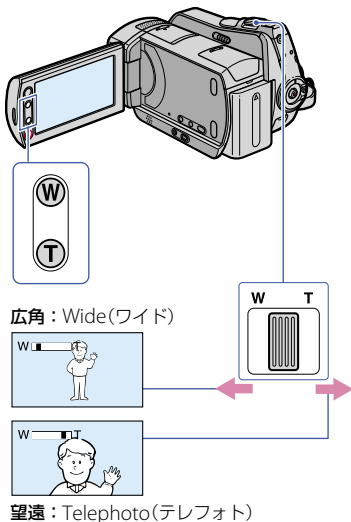
軽く押して ピント合わせ　点滅→点灯　深く押して 撮影

または の横に が表示されます。 が消えると記録されます。

ちょっと一言

- 撮影可能時間、撮影可能枚数は、57、59ページをご覧ください。
- 動画撮影中に顔画像を検出すると、 が点滅してインデックスに登録されます。再生時に、顔画像から見たい場面を探すことができます。(フェイスインデックス、31ページ)
- (ホーム)ボタンE(またはD)→ (撮影)→[動画]または[静止画]をタッチして撮影モードを切り換えることもできます。
- 記録した動画から静止画を作成できます(40ページ)

ズームする

25倍までズームできます。
倍率はズームレバーまたは液晶画面横のズームボタンで調整します。

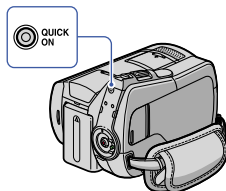
望遠：Telephoto（テレフォト）

ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

ご注意

- ズームレバーをT（望遠）に設定したときは、[手ブレ補正]を設定していても手ブレが補正しきれない場合があります。
- ズームレバーから急に指を離すと操作音が記録される場合があるのでご注意ください。
- 液晶画面横のズームボタンでは、ズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

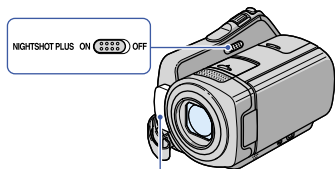
ちょっと一言

- [デジタルズーム]（58ページ）を使うと、25倍を超えたズームを使えます。

すばやく撮影を始める（クイックオン）

電源を切るかわりにQUICK ONボタンを押すと、消費電力を抑えた状態（スリープモード）になります。スリープモード中は、QUICK ONランプが点滅します。次の撮影を始めるときにもう一度QUICK ONボタンを押すと、約1秒で撮影可能な状態になります。

ちょっと一言

- スリープモード中は撮影時と比較して約半分の消費電力となり、バッテリーの消耗を抑えられます。
- スリープモード中に操作をしない状態が続くと、自動的に電源が切れます。[クイック オン時間]（66ページ）で、スリープモード中に電源が切れるまでの時間を設定できます。

暗い場所で撮る（NightShot plus）

赤外線発光部

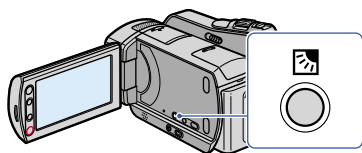
NIGHTSHOT PLUSスイッチを「ON」にすると、[NightShotアイコン]が表示されて、暗い場所で撮影できます。

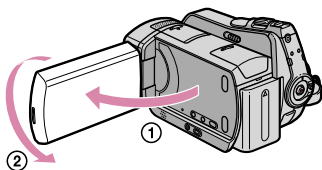
ご注意

- NightShot plusとSuper NightShot plusは赤外線を利用するため、赤外線発光部を指などで覆わないでください。また、コンバージョンレンズ（別売り）ははずしてください。
- ピントが合いにくいときは、手動ピント合わせ（[フォーカス]、69ページ）をしてください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

ちょっと一言

- さらに高感度で撮影するにはSuper NightShot plus（72ページ）、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影するにはColor Slow Shutter（71ページ）が使えます。

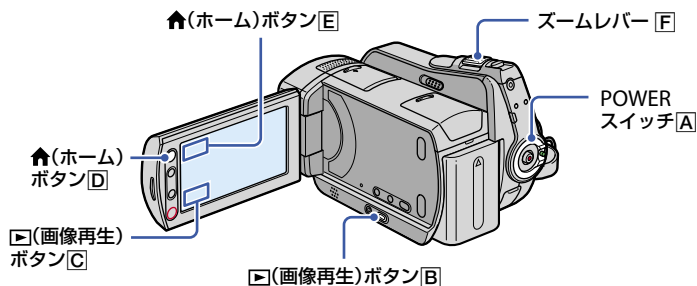
逆光を補正する

（逆光補正）ボタン を押すとが表示されて補正される。解除するにはもう一度押す。

自分撮り（対面撮影）する

液晶画面を90°まで開いてから（①）、レンズ側に180°回す（②）。

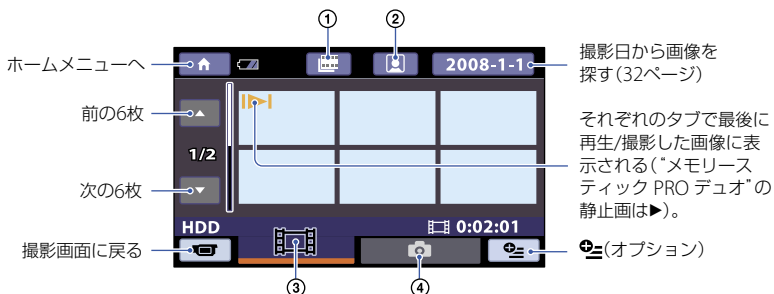
ちょっと一言

- 液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

見る

メディア設定で設定したメディアの画像を再生します（20ページ）。
お買い上げ時は、動画、静止画ともにハードディスクに設定されています。

1 POWERスイッチAをずらして本機の電源を入れる。

2 (画像再生)ボタンB(またはC)を押す。

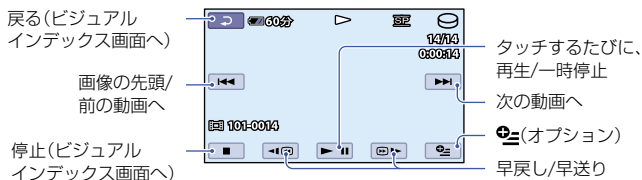
ビジュアルインデックス画面が表示されます（数秒かかります）。

① ：フィルムロールインデックス画面を表示する（31ページ）。
② ：フェイスインデックス画面を表示する（31ページ）。
③ ：動画を表示する。
④ ：静止画を表示する。

ちょっと一言

- ズームレバー Fを動かすと、ビジュアルインデックス画面の表示枚数が6枚↔12枚と切り替わります。(ホーム)→(設定)→［画像再生設定］→［表示枚数］でビジュアルインデックスに表示させる枚数を固定できます（61ページ）。

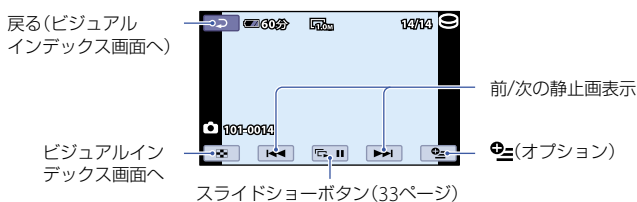
3 再生を始める。

動画を見る

タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

ちょっと一言

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に / をタッチすると、スロー再生が始まります。
- / は1度タッチすると約5倍速、2度タッチすると約10倍速、3度タッチすると約30倍速、4度タッチすると約60倍速で動作します。

静止画を見る

タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

動画の音量を調整するには

動画再生中に、（オプション）→ タブ→[音量]をタッチし、/をタッチして調節する。

ちょっと一言

- （ホーム）ボタンD（またはE）で再生モードを切り換えるには、（ホーム）→ （画像再生）→[V.インデックス]をタッチします。

ピンポイントで見たい場面を探す（フィルムロールインデックス）

撮影した動画を時間間隔で区切ったものがインデックス画面で表示されます。選んだ場面から動画を再生できます。
あらかじめ、再生したい動画が記録されているメディアを設定しておきます（20ページ）。

1 本機の電源を入れて、▶（画像再生）ボタンを押す。

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

2 ▦（フィルムロールインデックス）をタッチする。

ビジュアルインデックス画面に戻る

表示する間隔を設定

3 ▲/▼をタッチして、見たい動画を選ぶ。

4 ◀/▶をタッチして、表示された画像の中から再生したい場面をタッチする。

選んだ画像から再生されます。

ちょっと一言

- ⌂（ホーム）→ ▶（画像再生）→［▦ インデックス］をタッチしてフィルムロールインデックスで見ることもできます。

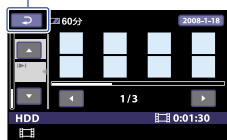
顔画像から見たい場面を探す（フェイスインデックス）

検出した人物の顔画像がインデックス画面で表示されます。選んだ顔画像からの動画を再生できます。
あらかじめ、再生したい動画が記録されているメディアを設定しておきます（20ページ）。

1 本機の電源を入れて、▶（画像再生）ボタンを押す。

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

2 ◙（フェイスインデックス）をタッチする。

ビジュアルインデックス画面に戻る

3 ▲/▼をタッチして、見たい動画を選ぶ。

4 ◀/▶をタッチして、再生したい場面の顔画像をタッチする。

選んだ顔画像の場面から再生されます。

ご注意

- 撮影状況によっては顔が検出されない場合があります。
  例：メガネや帽子で顔が隠れている場合や正面を向いていない場合など

- [インデックス]画面から動画を探すには、[インデックス設定]をあらかじめ[入](お買い上げ時の設定)にして撮影してください(58ページ)。撮影中は、 が点滅して顔画像がフェイスインデックスに登録されるのを確認してください。

ちょっと一言

- (ホーム)→ (画像再生)→ [インデックス]をタッチしてフェイスインデックスで見ることもできます。

撮影日から見たい場面を探す(日付インデックス)

撮影日から効率よく画像を探すことができます。
あらかじめ、再生したい画像が記録されているメディアを設定しておきます(20ページ)。

ご注意

- 日付インデックスは、"メモリースティック PRO デュオ"に記録された静止画では利用できません。

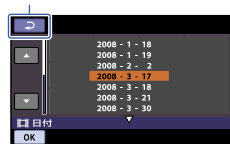
1 本機の電源を入れて、 (画像再生)ボタンを押す。

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

2 動画を探しているときは タブを、静止画のときは タブをタッチする。

3 液晶画面右上の日付表示をタッチする。

画像の撮影日が表示されます。

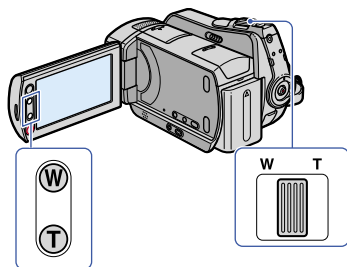
ビジュアルインデックス画面へ戻る

4 / をタッチして、見たい画像の撮影日を選び、OK をタッチする。

選んだ日付に撮影した画像がビジュアルインデックス画面に表示されます。

ちょっと一言

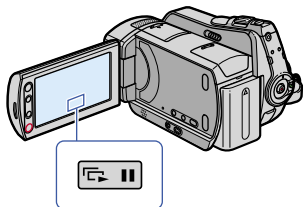
- [インデックス]や[インデックス]でも手順3 ～ 4の操作で日付インデックスが使えます。

再生ズームする

静止画を1.1 ～ 5倍の範囲でズームできます。
倍率はズームレバーまたは液晶画面横のズームボタンで調整します。

① 拡大したい静止画を表示する。
② T(望遠)で静止画を拡大する。
画面に枠が表示されます。
③ 画面中央に表示したい部分をタッチする。

④ W(広角)/T(望遠)で静止画の大きさを調節する。

終了するには、[↩]をタッチする。

静止画を連続再生する(スライドショー)

静止画再生画面で、[スライドショー]をタッチする。
選んだ静止画からスライドショーが始まります。
中止するには、[スライドショー]をタッチする。
再開するときは、もう一度[スライドショー]をタッチする。

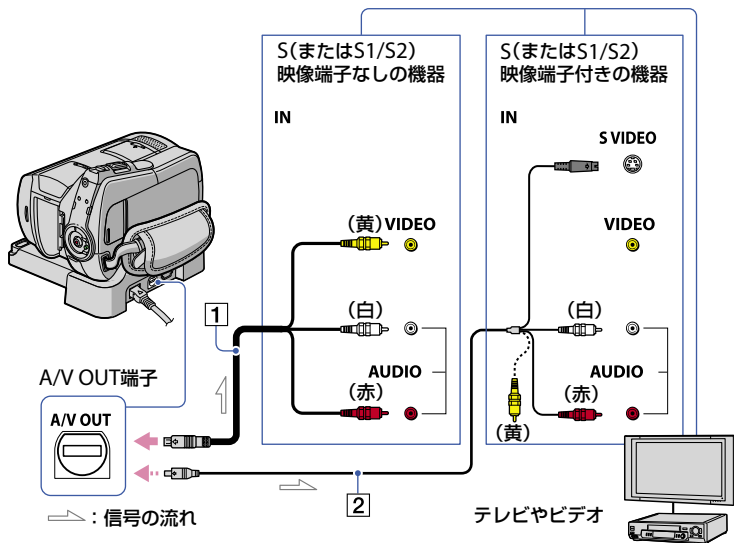
ご注意

- スライドショー再生中に再生ズームは使えません。

ちょっと一言

- (オプション)→[▶]タブ→[スライドショー設定]で、スライドショーの繰り返し再生を設定できます(お買い上げ時は[入])。
- ビジュアルインデックス画面の(オプション)→[▦]タブ→[スライドショー]でもスライドショー再生できます。

テレビにつないで見る

A/V接続ケーブル(1)、またはS映像端子付きA/V接続ケーブル(2)で本機をテレビやビデオの入力端子につなぎます。本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(13ページ)。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 **A/V接続ケーブル(付属)**
A/V リモート端子またはA/V OUT端子はハンディカムステーションおよび本機にそれぞれ装備されています(91、94ページ)。A/V接続ケーブルは、ハンディカムステーションまたは本機のどちらか一方に接続してください。

2 **S映像ケーブル付きのA/V接続ケーブル(別売り)**
S(S1、S2)映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のA/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

ご注意

- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- A/V接続ケーブルは、本機とハンディカムステーションに同時につながないでください。画像が乱れることがあります。

ちょっと一言

- [画面表示出力]を[ビデオ出力/パネル]に設定すると、テレビ画面でカウンターなどの情報を見ることができます(64ページ)。

ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換える。

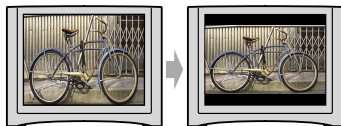
テレビ（ワイド/4：3）に合わせて画像の比率を変えるには

ご覧になるテレビに合わせて再生時の画像の比率を設定してください。

① 本機の電源を入れる。
② (ホーム)→ (設定)→[出力設定]→[TVタイプ]→[16:9]または[4:3]→ OK をタッチする。

ご注意

• ID-1/ID-2対応テレビにつないで再生する場合、[TVタイプ]を[16:9]に設定してください。テレビが自動的に再生画像の比率に切り換わります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
• [TVタイプ]を[4:3]に設定したときは、画質が下がることがあります。また、ワイド（16：9）と4:3の映像が切り換わるとき、画面が乱れることがあります。
• 一部の4:3テレビでは、4:3で撮影した静止画がテレビ画面いっぱいに表示されないことがありますが、故障ではありません。

• ワイド（16：9）画像をワイド信号非対応の4：3テレビでご覧になるときは、[TVタイプ]を[4:3]に設定してください。

モノラルテレビ（音声端子がひとつ）のときは

A/V接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）か赤いプラグ（右音声）のどちらかを音声入力へつなぐ。

画像を保存する

メディアには容量に限界があるため、DVD-Rやコンピューターのような外部メディアに画像データを保存してください。本機で撮影した画像は、以下の方法で保存(バックアップ)できます。

ちょっと一言
- ハードディスクに保存した画像は、本機で"メモリースティック PRO デュオ"にダビング/コピーすることができます(41ページ)。

パソコンを使う

付属のCD-ROM収録の「Picture Motion Browser」を使って、本機で撮影した画像を保存できます。詳しくはPMBガイドをご覧ください。

ワンタッチでDVDを作成する(ワンタッチ ディスク)

(ワンタッチ ディスク)ボタンを押して、本機のハードディスクの画像を、簡単操作でそのままDVDに保存できます。

画像をパソコンに保存する

本機で撮影した画像をパソコンのハードディスクに保存します。

画像を選んでDVDを作成する

パソコンに取り込んだ画像を選んで、DVDに保存できます。
また、パソコンで画像の編集もできます。

同梱ソフトウェアについては、付属の取扱説明書をご覧ください。

本機を他の機器につなぐ

A/V接続ケーブルでつなぐ

ビデオ、DVD/HDDレコーダーにダビングできます。

USBケーブルでつなぐ

動画ダビングに対応したDVDライターや、DVDレコーダーにダビングできます。

「他機器へダビングする」(46ページ)をご覧ください。

(その他の機能)カテゴリーでできること

本機で、メディアに記録された画像の編集ができます。また、本機を他機につないで活用できます。

(その他の機能)カテゴリー

項目一覧

削除

メディアから画像を削除します(38ページ)。

動画から静止画作成

動画からお好みの場面を静止画として記録できます(40ページ)。

動画ダビング

ハードディスクの動画を"メモリースティック PRO デュオ"にダビングできます(41ページ)。

静止画コピー

ハードディスクの静止画を"メモリースティック PRO デュオ"にコピーできます(42ページ)。

編集

画像を編集します(43ページ)。

プレイリスト編集

プレイリストを作成、編集します(44ページ)。

印刷

PictBridgeプリンターに接続して、静止画をプリントします(49ページ)。

USB接続

本機とパソコンなどをUSBケーブルで接続します(85ページ)。
接続方法は「取扱説明書」をご覧ください。

画像を削除する

メディアに記録された画像を本機で削除することができます。

ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプターを取りはずさないでください。メディアが壊れるおそれがあります。
- "メモリースティック PRO デュオ"に記録した画像の削除中は"メモリースティック PRO デュオ"を抜かないでください。
- 他機で画像にプロテクト(誤消去防止)をかけているときは、"メモリースティック PRO デュオ"に記録した画像を削除できません。

ちょっと一言

- 1度に100個までの画像を選べます。
- 画像の再生画面の (オプション)からも削除できます。
- メディアに記録されているすべての画像を削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します(52ページ)。

動画を削除する

画像データを削除して、メディアの空き領域を増やすことができます。
メディアの空き領域は、[メディア情報](51ページ)で確認できます。
あらかじめ、削除したい動画が記録されているメディアを設定しておきます(20ページ)。

ご注意

- 大切な画像データは、あらかじめ保存してください(36ページ)。

1 (ホーム)→ (その他の機能)→[削除]をタッチする。

2 [削除]をタッチする。

3 [削除]をタッチする。

4 削除したい動画をタッチする。

選んだ画像に ✔ が表示されます。
動画を確認するには、その動画を長押しする。選択画面に戻るには をタッチする。

5 OK →[はい]→ OK をタッチする。

動画をすべて削除するには

手順**3**で[全削除]→[はい]→[はい]→OKをタッチする。

動画を日付ごとにまとめて削除するには

① 手順**3**で[日付指定削除]をタッチする。

② ▲ / ▼ ボタンをタッチして、削除したい動画の撮影日を選んで、OKをタッチする。
選択された日付の動画が表示されます。
画像を確認するには、その動画をタッチする。選択画面に戻るには をタッチする。

③ OK →[はい]→OKをタッチする。

ご注意

- 削除した動画がプレイリスト(44ページ)に追加されている場合は、プレイリストに追加した動画も削除されます。

静止画を削除する

あらかじめ、削除したい静止画が記録されているメディアを選択しておきます（20ページ）。

1 (ホーム)→ (その他の機能)→[削除]をタッチする。

2 [削除]をタッチする。

3 [削除]をタッチする。

4 削除したい静止画をタッチする。

選んだ静止画に ✔ が表示されます。
選んだ静止画を確認するには、その静止画を長押しする。選択画面に戻るには をタッチする。

5 OK →[はい]→ OKをタッチする。

静止画をすべて削除するには

手順3で[全削除]→[はい]→[はい]→OKをタッチする。

静止画を日付ごとにまとめて削除するには

この操作はメディアが内蔵ハードディスクのときのみ有効です。

① 手順**3**で[日付指定削除]をタッチする。

② ▲/▼ をタッチして、削除したい静止画の撮影日を選んで、OKをタッチする。
選択された日付の静止画が表示されます。
静止画を確認するには、その静止画をタッチする。選択画面に戻るには をタッチする。

③ OK →[はい]→ OK をタッチする。

動画から静止画を作成する

記録済みの動画からお好みの場面を静止画として記録できます。
あらかじめ、動画が記録されているメディアと静止画を保存するメディアを設定しておいてください(20ページ)。

1 (ホーム) → (その他の機能) → [動画から静止画作成]をタッチする。

[動画から静止画作成]画面が表示されます。

2 記録したい動画をタッチする。

選んだ動画が再生されます。

3 記録したい場面で をタッチする。

再生が一時停止します。

4 OK をタッチする。

記録が完了すると一時停止の状態に戻ります。

続けて静止画を作成するには

をタッチしてから、手順**3**以降を行う。
別の動画を選ぶには、をタッチして手順**2**から行う。

終了するには

 → をタッチする。

ご注意

- 静止画の画像サイズは、動画の種類によって次のとおりに固定されます。
  - 16：9のときは[0.2M]
  - 4：3のときは[VGA(0.3M)]
- 静止画保存先のメディアに空き容量がないと実行できません。
- 作成された静止画の撮影日時は、元となった動画の撮影日時と同じ日付になります。
- データコードがない動画から静止画を作成した場合、静止画の撮影日時は作成日時と同じ日付になります。

本機で画像をダビング/コピーする

動画をダビングする

本機の内蔵ハードディスクに撮影した動画を、"メモリースティック PRO デュオ"にダビングできます。
あらかじめ、"メモリースティック PRO デュオ"を本機に取り付けておきます。

ご注意

- 初めて"メモリースティック PRO デュオ"に動画を記録するときは(ホーム) → (メディア管理) → [管理ファイル修復]で管理ファイルを作成してください(54ページ)。
- 途中で電源が切れないように、付属のACアダプターを使ってコンセントから電源をとってください。

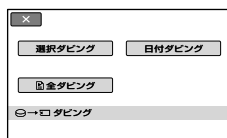
ちょっと一言

- ダビングしても、元の動画は削除されません。
- プレイリストは含まれる全画像がダビングされます。

---

1 (ホーム) → (その他の機能) → [動画ダビング]をタッチする。

[動画ダビング]画面が表示されます。

---

2 ダビングの種類をタッチする。

[選択ダビング]：動画を選んでダビングする。
[日付ダビング]：指定した日付の動画をまとめてダビングする。
[全ダビング]：プレイリストをダビングする。
ダビング元にプレイリストを選んだときは、画面の指示に従って操作してください。

---

3 ダビングする動画を選ぶ。

[選択ダビング]：ダビングする動画をタッチして ✔ マークをつける。複数選択できます。

"メモリースティック PRO デュオ"の残り容量

ちょっと一言

- サムネイルを長押しするとプレビューできます。で選択画面に戻ります。

[日付ダビング]：ダビングする日付を選んで OK をタッチする。複数の日付は選べません。

---

4 OK → [はい]をタッチする。

ダビングが実行されます。

ちょっと一言

- ダビングが終了した後に、ダビングが出来ているかを確認するには、[動画メディア設定]で[メモリースティック]を設定して確認してください(20ページ)。

編集する

静止画をコピーする

本機の内蔵ハードディスクに保存した静止画を"メモリースティック PRO デュオ"にコピーします。
あらかじめ、"メモリースティック PRO デュオ"を本機に取り付けておきます。

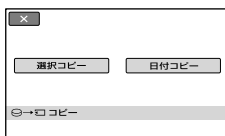
ご注意
- 途中で電源が切れないように、付属のACアダプターを使ってコンセントから電源をとってください。

ちょっと一言
- コピーしても、元の静止画は削除されません。

---

1 (ホーム) → (その他の機能) → [静止画コピー]をタッチする。

[静止画コピー]画面が表示されます。

---

2 コピーの種類をタッチする。

[選択コピー]：静止画を選んでコピーします。
[日付コピー]：指定した日付の静止画をまとめてコピーします。

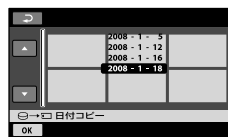
---

3 コピーする静止画を選ぶ。

[選択コピー]：コピーする静止画をタッチして ✔ マークをつける。複数選択できます。

ちょっと一言
- サムネイルを長押しするとプレビューできます。 で選択画面に戻ります。

[日付コピー]：コピーする日付を選んでOKをタッチする。複数の日付は選べません。

---

4 OK → [はい]をタッチする。

コピーが実行されます。

ちょっと一言
- コピーができているかを確認するには、[静止画メディア設定]で[メモリースティック] を設定して確認してください(20ページ)。

動画を分割する

撮影した動画を分割することができます。あらかじめ、分割する動画が記録されているメディアを設定しておきます（20ページ）。

1 （ホーム）→ （その他の機能）→［編集］をタッチする。

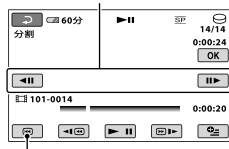
2 ［分割］をタッチする。

3 分割したい動画をタッチする。

選んだ動画が再生されます。

4 分割したいところで ►II をタッチする。

再生が一時停止します。

►II で分割位置を決定してから微調整をする

選んだ動画の先頭に戻る

►II をタッチするたびに、再生と一時停止が切り換わります。

5 OK →［はい］→ OKをタッチする。

ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプターを取りはずさないでください。メディアが壊れる恐れがあります。また、"メモリースティック PRO デュオ" に記録された動画の編集中は "メモリースティック PRO デュオ" を抜かないでください。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、►IIで決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。
- オリジナルの動画を分割すると、プレイリストに追加した動画も分割されます。

プレイリストを作る

「プレイリスト」とは、オリジナルの動画の中から、好みのものを選んで作成したリストのことです。
プレイリストに追加した動画を編集しても、オリジナルの動画には影響ありません。
あらかじめ、プレイリストを作成/再生/編集するメディアを設定しておきます（20ページ）。

1 (ホーム)→ (その他の機能)→[プレイリスト編集]をタッチする。

2 [追加]をタッチする。

3 追加したい動画をタッチする。

選んだ動画に ✔ が表示されます。
動画を確認するには、その動画を長押しする。選択画面に戻るには をタッチする。

4 OK →[はい]→ OKをタッチする。

動画を日付ごとにまとめてプレイリストに追加するには

① 手順**2**で[日付指定追加]をタッチする。
日付選択画面が表示されます。

② / をタッチして、追加したい動画の撮影日を選ぶ。
③ 追加したい動画の撮影日が選択された状態でOKをタッチする。
選択された日付の動画が表示されます。
動画を確認するには、その動画をタッチする。選択画面に戻るには をタッチする。
④ OK →[はい]→ OKをタッチする。

ご注意

- 追加中は、本機からバッテリーやACアダプターを取りはずさないでください。また、“メモリースティック PRO デュオ”に記録された動画の編集中は“メモリースティック PRO デュオ”を抜かないでください。
- 静止画はプレイリストに追加できません。

ちょっと一言

- プレイリストには最大99個の動画を追加できます。
- 動画の再生画面から、(オプション) → タブ → [へ追加]で追加することもできます。
- 付属のソフトウェアを使って、プレイリストをそのままDVDにコピーすることができます。

プレイリストを再生する

あらかじめ、プレイリストを作成/再生/編集するメディアを設定しておいてください（20ページ）。

1 (ホーム)→ (画像再生)→[プレイリスト]をタッチする。

プレイリスト画面が表示されます。

2 再生したい動画をタッチする。

選んだ動画からプレイリストの最後まで再生され、プレイリスト画面に戻ります。

追加した動画をプレイリストから消去するには

① (ホーム)→ (その他の機能)→[プレイリスト編集]をタッチする。

② [消去]をタッチする。

すべての動画を一括して消去するには、[全消去]→[はい]→[はい]→OKをタッチする。

③ プレイリストから消去したい動画をタッチする。

選んだ動画に ✔ が表示されます。

動画を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには をタッチする。

④ OK →[はい]→ OKをタッチする。

追加した画像を並べ換えるには

① (ホーム)→ (その他の機能)→[プレイリスト編集]をタッチする。

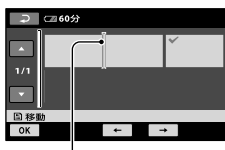
② [移動]をタッチする。

③ 移動させたい動画をタッチする。

選んだ動画に ✔ が表示されます。

画像を確認するには、その動画を長押しする。選択画面に戻るには をタッチする。

④ OKをタッチする。

⑤ ←/→で移動先を選ぶ。

⑥ OK →[はい]→ OKをタッチする。

ちょっと一言

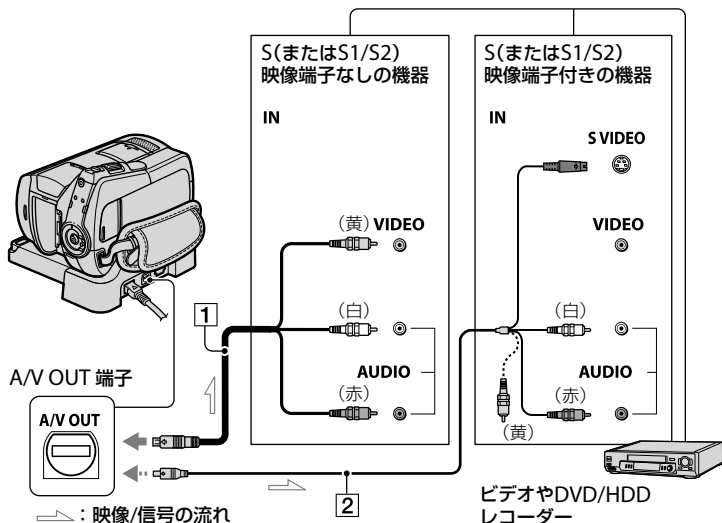
- 複数の動画を選んだ場合は、プレイリストで並んでいた順番で移動します。

他機器へダビングする

A/Vケーブルで接続する

本機と他のビデオ、DVD/HDDレコーダーを接続すると、本機の画像を他のDVDやビデオテープへダビングできます。下図のどちらかの方法で接続してください。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（13ページ）。
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
あらかじめ、ダビングするメディアを設定しておいてください（20ページ）。

ご注意

- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化することがあります。

1 A/V接続ケーブル（付属）
A/V リモート端子またはA/V OUT 端子はハンディカムステーションおよび本機にそれぞれ装備されています（91、94ページ）。A/V接続ケーブルは、ハンディカムステーション、または本機のどちらか一方に接続してください。

2 S映像ケーブル付きのA/V接続ケーブル（別売り）
S（S1、S2）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のA/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

ご注意

- 接続した機器の画面にカウンターなどの表示を出さない場合は、（ホーム）→ （設定）

→[出力設定]→[画面表示出力]→[パネル]（お買い上げ時の設定）にしてください（64ページ）。
日時やカメラデータをダビングしたいときは、それらを表示させてください（61ページ）。

• 他機がモノラル（ひとつの音声入力/出力）の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）を音声入力へつなぎます。

1 **本機の電源を入れ、▶（画像再生）ボタンを押す。**

再生機器（テレビなど）に合わせて、[TVタイプ]を設定する（35ページ）。

2 **録画側のビデオは録画用カセットテープ、DVDレコーダーは録画用DVDをセットする。**

入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にする。

3 **本機と録画側の機器（ビデオ、DVD/HDDレコーダー）を、A/V接続ケーブル（1、付属）またはS映像端子付きA/V接続ケーブル（2、別売り）でつなぐ。**

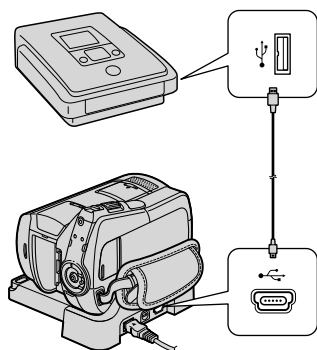
録画側の機器の入力端子につなぐ。

4 **本機で再生を始め、録画側の機器で録画を始める。**

詳しくは、録画側の機器の取扱説明書をご覧ください。

5 **ダビングが終わったら、録画側の機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。**

USBケーブルで接続する

本機とUSB接続動画ダビングに対応したDVDライターなどを接続すると、本機の画像を画質劣化なく、ダビングすることができます。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（13ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 **本機の電源を入れる。**

2 **USBケーブル（付属）で本機の ψ（USB）端子とDVDライターなどをつなぐ。**

[USB機能選択]画面が表示されます。

3 **ダビングしたい動画が記録されているメディアにあわせて[⊖ USB接続]または[▭ USB接続]をタッチする。**

4 接続機器側の操作を行って、録画を始める。

詳しくは、録画側の機器の取扱説明書をご覧ください。

5 ダビングが終わったら、本機の画面上の[終了] → [はい]をタッチして、USBケーブルを抜く。

ちょっと一言

- [USB機能選択]画面が表示されないときは、（ホーム）→（その他の機能）→[USB接続]をタッチして表示させてください。

記録した静止画を印刷する（PictBridge対応プリンター）

PictBridge対応のプリンターを使えば、本機で撮影した静止画をパソコンを使わずに印刷できます。

PictBridge

本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（13ページ）。あらかじめ、プリンターの電源を入れ、印刷したい静止画が保存されているメディアを設定しておいてください（20ページ）。
"メモリースティック PRO デュオ"の静止画を印刷する場合は、あらかじめ本機に静止画を記録した"メモリースティック PRO デュオ"を入れておいてください。

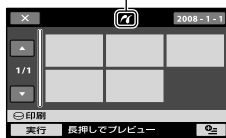
1 **ACアダプターをハンディカムステーションと壁のコンセントにつなぐ。**

2 **本機をハンディカムステーションに取り付けて、電源を入れる。**

3 **USBケーブル（付属）でハンディカムステーションの(USB)端子とプリンターをつなぐ（94ページ）。**

本機の画面に［USB機能選択］画面が表示されます。

4 **［印刷］をタッチする。**

本機とプリンターの接続が完了すると画面に (PictBridge接続中)が表示される

静止画選択画面が表示されます。

5 **印刷したい静止画をタッチする。**

選んだ静止画に ✔ が表示されます。
静止画を確認するには、その静止画を長押しする。選択画面に戻るには、をタッチする。

6 **（オプション）をタッチして次の設定をしたら、OKをタッチする。**

［印刷部数］：1枚の静止画を印刷する部数。最大20部まで印刷部数を設定できる。
［日付/時刻］：［年月日］、［日時分］または［切］（日付/時刻印刷なし）から選ぶ。
［用紙サイズ］：印刷用紙のサイズを選ぶ。
変更しないときは、手順7に進む。

7 **［実行］→［はい］→OKをタッチする。**

静止画選択画面に戻ります。

印刷を終了するには

手順**4**でをタッチする。

ご注意

- PictBridge規格未対応機器との接続は、動作保証いたしません。
- プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 画面にが表示中に次の操作をすると、正常な処理が行われません。
  - POWERスイッチを切り換える

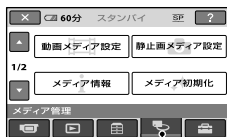
- ▶(画像再生)ボタンを押す
- 本機をハンディカムステーションから取りはずす
- 本機、ハンディカムステーションまたはプリンターからUSBケーブルを抜く
- "メモリースティック PRO デュオ"に記録された静止画を印刷するとき、本機から"メモリースティック PRO デュオ"を取り出す

- プリンターが動作しなくなった場合は、USBケーブルを抜いてプリンターの電源を入れ直してから、操作をやり直してください。
- プリンターが対応していない用紙サイズは選択できません。
- プリンターによっては、静止画の上下左右が切れる場合があります。特に静止画がワイド(16:9)のときは、左右が大きく切れる場合があります。
- プリンターによっては、日時印刷に対応していないものがあります。プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- 次の静止画は印刷できないことがあります。
  - パソコンで編集した静止画
  - 他機で撮影した静止画
  - ファイルサイズが4MBより大きい静止画
  - 画素数が3,680×2,760より大きい静止画

ちょっと一言

- PictBridge(ピクトブリッジ)とは、カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格のことです。メーカーや機種に関係なく、ビデオカメラやデジタルスチルカメラを直接プリンターに接続し、パソコンを使わずに静止画を印刷できます。
- 静止画の再生画面から、(オプション)からも印刷できます。

(メディア管理)カテゴリーでできること

ハードディスクや"メモリースティック PRO デュオ"に関するさまざまな操作ができます。

(メディア管理)カテゴリー

項目一覧

動画メディア設定

動画用のメディアを設定します(20ページ)。

静止画メディア選択

静止画用のメディアを設定します(20ページ)。

メディア情報

録画可能時間などのメディアの情報が表示されます(51ページ)。

メディア初期化

メディアをフォーマットして再利用できます(52ページ)。

管理ファイル修復

メディアの管理情報を修復します(54ページ)。

メディア情報を確認する

[動画メディア設定]で選択しているメディアの録画モードごとの録画可能時間や、メディアの使用領域と空き領域の目安を確認できます(20ページ)。

ご注意

- かんたん操作中はメディア情報を確認できません。かんたん操作を解除してください。

(ホーム)→(メディア管理)→[メディア情報]をタッチする。

ちょっと一言

- 画面右下の [→] をタッチすると、使った容量と空き容量が確認できます。

終了するには

[×] をタッチする。

ご注意

- メディアの容量は、1MBが1,048,576バイトで計算され、MBに満たない端数は切り捨てられて表示されます。そのため、使用領域と空き領域を足しても、下記より若干小さい数値が表示されます。
  - DCR-SR65:
    40,000MB
- 管理ファイル用領域があるため、[メディア初期化](52ページ)を行っても、使用領域の表示は0MBになりません。

ちょっと一言

- [動画メディア設定](20ページ)で設定しているメディアの情報が表示されます。必要に応じてメディアを切り換えてください。

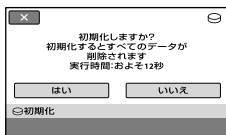
画像をすべて削除する（初期化）

初期化とは、記録した画像をすべて削除して、メディアの記録容量を元に戻すことです。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（13ページ）。

ご注意

- 大切な画像データは保存（36ページ）してから、［メディア初期化］を行ってください。
- ［メディア初期化］中は、ACアダプターを取りはずさないでください。

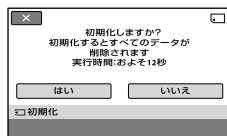
ハードディスクを初期化する

1 （ホーム）→（メディア管理）→［メディア初期化］→［HDD］の順にタッチする。

2 ［はい］→［はい］をタッチする。

3 ［完了しました］と表示されたら、OKをタッチする。

"メモリースティック PRO デュオ"を初期化する

1 初期化したい"メモリースティック PRO デュオ"を入れる。

2 （ホーム）→（メディア管理）→［メディア初期化］→［メモリースティック］の順にタッチする。

3 ［はい］→［はい］をタッチする。

4 ［完了しました］と表示されたら、OKをタッチする。

ご注意

- ACCESSランプ点灯中は、"メモリースティック PRO デュオ"を本機から抜かないでください。
- 他機でプロテクト（誤消去防止）をかけた静止画も削除されます。
- ［実行中］が表示されているとき、次の操作はしないでください。
  - POWERスイッチまたはボタン操作
  - "メモリースティック PRO デュオ"の取り出し

ハードディスク上のデータを復元しにくくする

本機のハードディスクに無意味なデータを書き込んで、データの復元を困難にします。本機を廃棄したり譲渡する前に、情報の漏洩を防ぐために[⊖ データ消去]を行うことをおすすめします。

ご注意

- [⊖ データ消去]を行うと、画像はすべて消去されます。大切な画像データは保存(36ページ)してから、[⊖ データ消去]を行ってください。
- ACアダプターを使って電源をコンセントからとっていないと、[⊖ データ消去]を行うことはできません。
- ACアダプター以外のケーブル類ははずしてください。実行中はACアダプターをはずさないでください。
- [⊖ データ消去]中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。

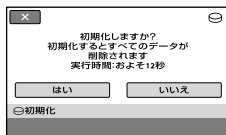
1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

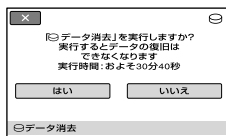
2 本機の電源を入れる。

ちょっと一言

- 電源ランプの点灯位置は、(動画)/ (静止画)のどちらでも操作できます。

3 (ホーム)→ (メディア管理)→[メディア初期化]→[HDD]をタッチする。

[⊖ 初期化]画面が表示されます。

4 (逆光補正)ボタンを数秒間長押しする。

[⊖ データ消去]画面が表示されます。

5 [はい]→[はい]をタッチする。

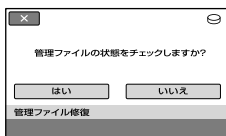
6 [完了しました]と表示されたら OK をタッチする。

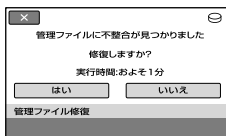
ご注意

- [⊖ データ消去]の実行には約40分必要です。
- [実行中]と表示されている間に中止した場合は、次に本機を使う前に、[メディア初期化]または[⊖ データ消去]を実行して完了させてください。

管理ファイルを修復する

管理情報とメディアの動画/静止画の整合性を確認し、不整合があれば修復します。

1 （ホーム）→ （メディア管理）→［管理ファイル修復］→［HDD］または［メモリースティック］をタッチする。

2 ［はい］をタッチする。

管理ファイルのチェックが始まります。
不整合が見つからなかった場合は、OK をタッチして終了する。

3 ［はい］をタッチする。

4 ［完了しました］と表示されたら OK をタッチする。

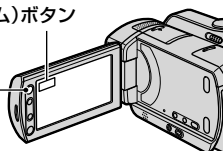
ご注意

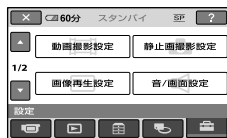
- 管理ファイル修復中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- ACアダプターやバッテリーをはずしたりしないでください。
- "メモリースティック PRO デュオ"の管理ファイルの修復中は"メモリースティック PRO デュオ"を抜かないでください。
- "メモリースティック PRO デュオ"とハードディスクの修復は、それぞれ独立して実行されます。

ホームメニューの(設定)カテゴリーでできること

お買い上げ時に設定されている撮影機能や本機の動作を、お好みに合わせて変更できます。

設定のしかた

1 本機の電源を入れ、(ホーム)ボタンを押す。

(設定)カテゴリー

2 (設定)をタッチする。

3 希望する設定項目をタッチする。

画面にないときは、▲/▼をタッチして、表示させる。

4 希望の項目をタッチする。

画面にないときは、▲/▼をタッチして、表示させる。

5 希望の設定にして、OKをタッチする。

(設定)カテゴリーの項目一覧

動画撮影設定(57ページ)

項目	ページ
録画モード	57
NIGHTSHOT ライト	57
ワイド切換	57
デジタルズーム	58
手ブレ補正	58
オートスロシャッタ	58
ガイドフレーム	58
残量表示設定	58
インデックス設定*	58

静止画撮影設定(59ページ)

項目	ページ
画像サイズ*	59
ファイルナンバー	59
NIGHTSHOT ライト	57
ガイドフレーム	58
フラッシュモード*	59
フラッシュレベル	60
赤目軽減	60

画像再生設定(61ページ)

項目	ページ
日時/データ表示	61
表示枚数	61

音/画面設定**(63ページ)

項目	ページ
音量*	63
操作音*	63
パネル明るさ	63
パネルBLレベル	63
パネル色の濃さ	63

出力設定(64ページ)

項目	ページ
TVタイプ	35
画面表示出力	64

時計設定(65ページ)

項目	ページ
日時あわせ*	17
エリア設定	65
サマータイム	65

一般設定(66ページ)

項目	ページ
デモモード	66
キャリブレーション	89
自動電源オフ	66
クイック オン時間	66
リモコン	66
落下検出	66

* かんたん操作(22ページ)中に設定できる項目です。

** かんたん操作中は[音設定]になります。

動画撮影設定
（動画を撮影するときの設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、をタッチして画面を移動する。

設定方法は

（ホームメニュー）→55ページ
（オプションメニュー）→67ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

録画モード

動画を撮影するときの画質を3段階から選べます。

HQ
高画質で録画する。
（9M（HQ））

▶SP
標準画質で録画する。
（6M（SP））

LP
長時間録画する。
（3M（LP））

撮影可能時間（ハードディスク）

録画モード	撮影可能時間
HQ	9時間40分
SP	14時間30分
LP	27時間40分

撮影可能時間（“メモリースティック PRO デュオ”）

（分）

	HQ	SP	LP
512MB	6（5）	9（5）	15（10）
1GB	10（10）	20（10）	35（25）
2GB	25（25）	40（25）	80（50）
4GB	55（50）	80（50）	160（105）
8GB	115（100）	170（100）	325（215）

- カッコ内は最低記録時間

ご注意

- ソニー製“メモリースティック PRO デュオ”使用時。撮影可能時間は撮影環境、被写体の状態や、[録画モード]、“メモリースティック”の種類によっても変わります。
- LPモードで録画した画像を再生すると、多少画質が荒くなり、動きの速い映像ではブロックノイズが出ることがあります。

NIGHTSHOT ライト

NightShot plus（27ページ）や[S.NIGHTSHOT PLS]（72ページ）撮影時に、赤外線を発光するライトで、よりはっきりとした画像を記録できます。
お買い上げ時は[入]に設定されています。

ご注意

- 赤外線発光部を指などで覆わないでください。
- コンバージョンレンズ（別売り）ははずしてください。
- ライトが届く範囲は約3メートルです。

ワイド切換

つなぐテレビの画像の比率に合った画像サイズで撮影できます。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

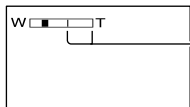
▶16:9 ワイド
ワイド（16:9）テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

4:3（）
4:3テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

ご注意

- 再生時に接続するテレビに合わせて[TVタイプ]を正しく設定してください（35ページ）。

デジタルズーム

撮影時に、光学ズーム（27ページ）を超えてデジタルズームになったときの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。

ラインよりT側がデジタルズームになります。倍率を選ぶと表示されます。

▶切

25倍光学ズームのみ

50×

25倍光学ズーム＋最大50倍までのデジタルズーム

2000×

25倍光学ズーム＋最大2000倍までのデジタルズーム

手ブレ補正

お買い上げ時の設定は［入］のため、手ブレ補正を使って撮影できます。三脚を利用するときは、［切］（ ）にすると自然な画像になります。

オートスロシャッタ（オートスローシャッター）

暗い場所で撮影するときに自動的に1/30までシャッタースピードが遅くなります。お買い上げ時は［入］に設定されています。

ガイドフレーム

［入］にすると、フレームを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。

フレームは記録されません。DISP/BATT INFOボタンを押すと、フレームを消せます。

（お買い上げ時の設定は「切」）

ちょっと一言

- ガイドフレームの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

残量表示設定

▶入

メディア残量を常に表示する。

オート

次のときに動画の撮影可能時間を約8秒間表示する。

- （動画）ランプ点灯時にメディア残量を認識したとき
- （動画）ランプ点灯時にDISP/BATT INFOボタンを押して、画面表示を非表示→表示に切り換えたとき
- ホームメニューで動画撮影画面に切り換えたとき

ご注意

- 動画の撮影可能時間が5分以下になったときは、常に表示されます。

インデックス設定

お買い上げ時の設定は［入］のため、顔画像を自動的に検索し、フェイスインデックス画面を表示できます（31ページ）。

顔アイコンの状態

: 設定が［入］のとき

: 顔を検出したときに点滅。登録が完了すると点灯。

: 登録できないとき*

* 登録できる数には限りがあります。

静止画撮影設定
（静止画を撮影するときの設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、をタッチして画面を移動する。

設定方法は

（ホームメニュー）→55ページ
（オプションメニュー）→67ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

画像サイズ

▶1.0M
鮮明な画像を撮影する（1152 × 864）。

0.7M
鮮明な画像をワイド（16:9）で撮影する（1152 × 648）。
ワイド(16：9)に切り換えると画像サイズは[0.7M]に固定される。

VGA（0.3M）
たくさんの画像を撮影する（640 × 480）。

"メモリースティック PRO デュオ"の容量（MB）と撮影可能枚数（枚）*

	1.0M 1152×864
512MB	880
1GB	1800
2GB	3700
4GB	7200
8GB	14500

* 撮影可能枚数は本機での最大の画像サイズの枚数のみ記載しています。実際の撮影可能枚数については、撮影中の液晶画面上でご確認ください（96ページ）。

ご注意

- ソニー製"メモリースティック PRO デュオ"使用時。
  枚数は撮影環境や"メモリースティック"の種類によって異なる場合があります。
- ハードディスクには静止画を最大で9,999枚撮影できます。

ちょっと一言

- 静止画撮影には、容量512MB未満の"メモリースティック デュオ"も使えます。

ファイルナンバー

▶連番
"メモリースティック PRO デュオ"を取り換えても、静止画のファイル番号を連続して付ける。フォルダを新しく作成、または記録先フォルダを変更した場合はリセットされます。

リセット
現在の記録メディアに存在している最大ファイル番号の次の番号を付ける。

NIGHTSHOT ライト

57ページをご覧ください。

ガイドフレーム

58ページをご覧ください。

フラッシュモード

本機に対応した外付けフラッシュ（別売り）を使って静止画を撮影するときのフラッシュの設定を選べます。

▶入（ϟ）
周囲の明るさに関係なく、常に発光する。

オート
撮影状況により光量が足りないと判断した場合、自動的に発行する。

フラッシュレベル

本機に対応している外付けフラッシュ（別売り）をお使いのときに設定できます。

明るい（⚡+）
発光量が増える。

▶**ノーマル（⚡）**

暗い（⚡–）
発光量が減る。

赤目軽減

本機に対応している外付けフラッシュ（別売り）を使って静止画を撮影するときに設定します。
［入］に設定して、フラッシュモードの設定を［オート］または［入］にすると 👁 が表示されます。フラッシュ発光するとき予備発光し、撮影時に目が赤く光るのを抑制します。

ご注意
- 赤目軽減で撮影しても、効果が現れにくいことがあります。

画像再生設定
（表示内容の設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、をタッチして画面を移動する。

設定方法は

(ホームメニュー)→55ページ
(オプションメニュー)→67ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

日時/データ表示

撮影時に自動的に記録された情報(日付時刻データやカメラデータ)を再生時に確認できます。

▶切
日付時刻データやカメラデータを表示しない。

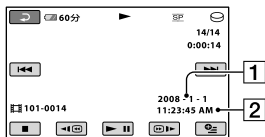
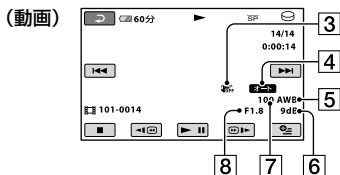
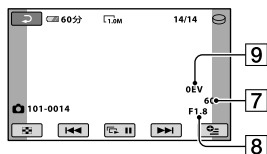
日付時刻データ
記録した画像の日付・時刻データを表示する。

カメラデータ
記録した画像のカメラデータを表示する。

日付時刻データ

1 日付
2 時刻

カメラデータ

（動画）

（静止画）

3 手ブレ補正
4 明るさ調節
5 ホワイトバランス
6 ゲイン
7 シャッタースピード
8 絞り値
9 露出

ちょっと一言

- フラッシュを使って撮影した画像では、が表示されます。
- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも表示されます。
- リモコンのデータコードボタンを押すと、[日付時刻データ]→[カメラデータ]→[切]（表示なし）と切り換わります。
- メディアの状態によっては、[-- -- --]と表示されます。

表示枚数

ビジュアルインデックス画面に表示するサムネイルの枚数を設定します。
サムネイル☞ 用語集(98ページ)へ

▶ズーム連動
本機のズームレバーを動かすと6枚表示と12枚表示が切り換わる。*

本機の設定を変える

6枚

常に6枚のサムネイルを表示する。

12枚

常に12枚のサムネイルを表示する。

* 液晶画面横のズームボタン、リモコンのズームボタンでも操作できます。

音/画面設定
（音やパネルの設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動する。

設定方法は

(ホームメニュー)→55ページ
(オプションメニュー)→67ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

音量

－/＋をタッチして調節します。30ページをご覧ください。

操作音

▶入

撮影START/STOP時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

切

操作音とシャッター音を出さない。

パネル明るさ

液晶画面の明るさを調節できます。

① －/＋で調節する。

② をタッチする。

ちょっと一言

• 録画される画像に影響ありません。

パネルBLレベル

液晶画面のバックライトの明るさを調節できます。

▶ノーマル

通常の設定（標準の明るさ）。

明るい

画面が暗いと感じたときに選ぶ。

ご注意

• ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
• [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。
• 液晶画面を180度回転させ、外側に向けて閉じた状態で使うと、設定は自動的に[ノーマル]になります。

ちょっと一言

• 録画される画像に影響ありません。

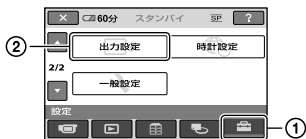
パネル色の濃さ

－/＋で液晶画面の濃さを調節できます。

ちょっと一言

• 録画される画像に影響ありません。

本機の設定を変える

出力設定
（他の機器とつないだときの設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、/をタッチして画面を移動する。

▶ 設定方法は

(ホームメニュー)→55ページ
(オプションメニュー)→67ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

TVタイプ

35ページをご覧ください。

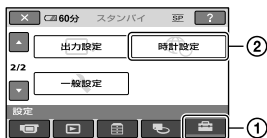
画面表示出力

▶パネル

カウンターなどの画面表示を液晶画面に出す。

ビデオ出力/パネル

画面表示をテレビ画面、液晶画面に出す。

時計設定
（時刻などの設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動する。

▶ 設定方法は

(ホームメニュー)→55ページ
(オプションメニュー)→67ページ

日時あわせ

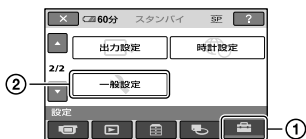
17ページをご覧ください。

エリア設定

時計を止めることなく時差補正ができます。
海外で使用するときは、▲/▼で使用する地域を選び、現地時刻に合わせます。「世界時刻表」(84ページ)をご覧ください。

サマータイム

時計を止めることなく設定を変更できます。
［入］に設定すると、時計が1時間進みます。

一般設定
（その他の設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動する。

設定方法は

(ホームメニュー)→55ページ
(オプションメニュー)→67ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

デモモード

お買い上げ時の設定は[入]のため、POWERスイッチをずらして(動画)ランプを点灯させた約10分後に本機の機能のデモンストレーションを見ることができます。

ちょっと一言
- 次のいずれかを行うと、デモンストレーションを中断できます。
  - START/STOPボタン、PHOTOボタンを押す
  - デモンストレーション中に画面をタッチする（約10分後に再開します）
  - (静止画)ランプを点灯させる
  - (ホーム)ボタン/(画像再生)ボタンを押す

キャリブレーション

89ページをご覧ください。

自動電源オフ

▶5分後
何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる。

なし
自動的に電源は切れない。

ご注意
- コンセントにつないで使うと自動的に[なし]になります。

クイック オン時間

スリープモード中（27ページ）に電源が切れるまでの時間を設定します。お買い上げ時は[10分後]に設定されています。

ご注意
- スリープモード時は、[自動電源オフ]の設定は無効になります。

リモコン

お買い上げ時の設定は[入]のため、付属のワイヤレスリモコン（95ページ）が使えます。

ちょっと一言
- [切]に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

落下検出

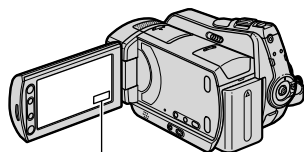
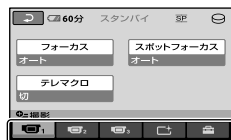
お買い上げ時の設定は[入]のため、本機が落下状態を検出すると、内蔵ハードディスクの保護のために、正常な記録/再生ができなくなることがあります。落下検出時は、が表示されます。

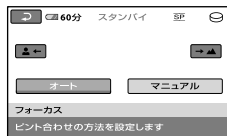
ご注意
- 通常は[入]（お買い上げ時の設定）にして本機を使用してください。[切]（OFF）にすると、落下時に本機のハードディスクを損傷するおそれがあります。
- 本機が無重力状態になると落下検出が作動します。ジェットコースターやスカイダイビングなど、本機が無重力状態で撮影するときは、[切]（OFF）に設定すると落下検出が作動しません。

オプションメニューで設定する

パソコンの右クリックのような役割がオプションメニューです。そのときに設定できるさまざまな機能が表示されます。

設定のしかた

1 本機を使用中に、画面の (オプション)ボタンをタッチする。

2 希望の項目をタッチする。

画面にないときは、他のタブをタッチして、表示させる。

他のタブをタッチしても見つからないときは、その機能は使えません。

3 希望の設定にして、OKをタッチする。

ご注意

- 表示されるタブや項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。
- タブが表示されない場合もあります。
- かんたん操作中はオプションメニューは使えません。

撮るときなどのオプションメニュー

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
フォーカス	−	69
スポットフォーカス	−	69
テレマクロ	−	69
カメラ明るさ	−	70
スポット測光	−	70
シーンセレクション	−	70
ホワイトバランス	−	71
COLOR SLOW SHTR	−	71
S.NIGHTSHOT PLS	−	72

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
フェーダー	−	72
デジタルエフェクト	−	72
P.エフェクト	−	72

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
録画モード	○	57
内蔵ズームマイク	−	72
マイク基準レベル	−	73
画像サイズ	○	59
セルフタイマー	−	73
フラッシュモード	○	59

見るときなどのオプションメニュー

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
削除	○	38
日付指定削除*	○	38
全削除*	○	38

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
分割	○	43
消去*	○	45
全消去*	○	45
移動*	○	45

項目	ホームにもある項目	ページ
ーー(状況によってタブが変わる)		
へ追加*	○	44
へ日付指定追加*	○	44
印刷	○	49
スライドショー	−	33
音量	○	63
日時/データ表示	○	61
スライドショー設定	−	33
追加	○	44
日付指定追加	○	44

項目	ホームにもある項目	ページ
ーー(タブなし)		
印刷部数	−	49
日付/時刻	−	49
用紙サイズ	−	49

* ホームメニューにも同じ機能がありますが、項目名は異なります。

オプションメニューで設定する機能

ここではオプションメニューからのみ設定できる機能について説明します。

▶はお買い上げ時の設定です。

フォーカス

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。

① [マニュアル]をタッチする。
　が表示されます。
② (近くにピント合わせ)/ (遠くにピント合わせ)をタッチしてピント調節。それ以上近くにピントを合わせられないときは が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは が表示されます。
③ OK をタッチする。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で[オート]→OKをタッチする。

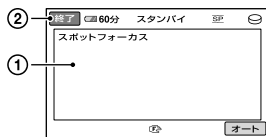
ご注意

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

ちょっと一言

- ピントは、始めにズームをT側(望遠)にしてピントを合わせてから、W側(広角)に戻していくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。
- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を数秒間表示します。(別売りのコンバージョンレンズを付けているときは正しく表示されません。)
  - ピントを合わせる設定を自動から手動に切り換えたとき
  - フォーカスを手動調節したとき

スポットフォーカス

画面中央からはずれた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。

① 画面枠内の被写体にタッチする。
　が表示されます。
② [終了]をタッチする。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で[オート]→[終了]をタッチする。

ご注意

- スポットフォーカス中は、[フォーカス]が自動的に[マニュアル]になります。

テレマクロ

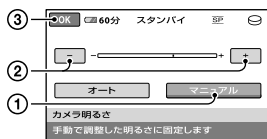
背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。
[入]( )にするとズーム(27ページ)が自動で望遠(T側)になり、約38cmまでの近接撮影ができます。

解除するには、[切]をタッチする。またはズームを広角(W側)にする。

ご注意

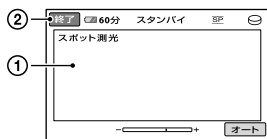
- 被写体が遠いときはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([フォーカス]、69ページ)。

カメラ明るさ

画像の明るさを手動で固定できます。背景に比べて被写体が明るすぎたり暗すぎたりするときなどに調節します。

① [マニュアル]をタッチする。
　-━━━━+ が表示されます。
② [－]/[＋] で明るさを調節する。
③ [OK]をタッチする。

自動調節に戻すには、手順①で[オート]→[OK]をタッチする。

スポット測光(フレキシブルスポット測光)

被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。

① 画面枠内の明るさを調整するポイントをタッチする。
　-━━━━+ が表示されます。
② [終了]をタッチする。

自動調節に戻すには、手順①で[オート]→[終了]をタッチする。

ご注意

- フレキシブルスポット測光中は、[カメラ明るさ]は自動的に[マニュアル]になります。

シーンセレクション

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

▶オート

シーンセレクションを使わずに、自動的に効果的な画像になる。

夜景*（☽）

暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影できる。

キャンドル（🕯）

キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮影できる。

日の出＆夕焼け*（⊖）

日の出や夕焼けなどを雰囲気たっぷりに表現する。

打ち上げ花火*（❂）

打ち上げ花火をきれいに撮影する。

風景*（[▲]）

遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。

ソフトポートレート（👤）

背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。

スポットライト（👤）**

スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。

スポーツレッスン（🏌）**

動きの早い被写体のぶれを小さくする。

ビーチ（🏝）**

海や湖畔などで、水の青さを鮮やかに撮影できる。

スノー（⛄）**

ゲレンデなどの白い風景で、画面が暗くなるのを防ぎ、明るくする。

* 遠景のみにピントが合うように設定されます。

**近くのものにピントが合わないように設定されます。

ご注意

- ［シーンセレクション］を設定すると、［ホワイトバランス］の設定が解除されます。

ホワイトバランス

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。

▶オート

自動調節される。

屋外（☀）

次の撮影環境に合った色合いになる。

- 屋外
- 夜景やネオン、花火など
- 日の出、日没など
- 昼光色蛍光灯の下

屋内（💡）

次の撮影環境に合った色合いになる。

- 屋内
- パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所
- スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

ワンプッシュ（◬）

光源に合わせてホワイトバランスを固定する。

① ［ワンプッシュ］をタッチする。

② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。

③ ［◬］をタッチする。
◬が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節されます。終わると点灯に変わります。

ご注意

- 白色や昼白色の蛍光灯下では、［オート］に設定するか、［ワンプッシュ］の手順で色合いを調節してください。
- ワンプッシュ設定時の◬の速い点滅中は、白いものを映しつづけてください。
- ［ワンプッシュ］が設定されなかった場合、◬がゆっくり点滅します。
- ［ワンプッシュ］で設定するとき、OKをタッチしても◬が点滅する場合は、［オート］に設定してください。
- ［ホワイトバランス］を設定すると、［シーンセレクション］が［オート］に戻ります。

ちょっと一言

- ［オート］でバッテリーを交換したときや屋内外を移動したときは、白っぽい被写体に向けて［オート］で約10秒間撮影すると、最適な色合いになります。
- ［ワンプッシュ］設定中に、［シーンセレクション］の効果を変えたり、屋外と屋内を行き来したりしたときは、再び［ワンプッシュ］の手順を行ってください。

COLOR SLOW SHTR (Color Slow Shutter)

［COLOR SLOW SHTR］を［入］にすると、暗い場所でも明るくカラーで撮影できます。
画面に 🄲 が表示されます。
解除するには、［切］をタッチする。

ご注意

- ピントが合いにくい場合は、手動でピントを合わせてください（[フォーカス]、69ページ）。
- シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

S.NIGHTSHOT PLS（Super NightShot plus）

暗い場所でNightShot plusの最大16倍の感度で撮影できます。
あらかじめNIGHTSHOT PLUSスイッチ（27ページ）を「ON」にした状態で[S.NIGHTSHOT PLS]を[入]にする。
S◉が表示されます。
解除するには、[切]をタッチする。

ご注意

- 明るい場所で使うと故障の原因になります。
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください。
- コンバージョンレンズ（別売り）ははずしてください。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください（[フォーカス]、69ページ）。
- シャッタースピードが明るさによって変わるため、画像の動きが遅くなることがあります。

フェーダー

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

① スタンバイ中（フェードインのとき）、または撮影中（フェードアウトのとき）に使いたい効果を選んで[OK]をタッチする。
② START/STOPボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消えます。

操作開始前に解除するには、①で[切]をタッチする。
一度START/STOPボタン押すと設定は解除されます。

ホワイトフェーダー

ブラックフェーダー

デジタルエフェクト

[オールドムービー]を選択すると が表示され、昔の映画のような画像で撮影できます。
解除するには、[切]をタッチする。

P.エフェクト（ピクチャーエフェクト）

特殊効果を加えて撮影できます。 が表示されます。

▶**切**
ピクチャーエフェクトを使わない。

セピア
古い写真のような画像。

モノトーン
白黒の画像。

パステル
淡い色の画像。

内蔵ズームマイク

[入]（ ）にするとズームに合わせて、音声の強弱をつけた記録ができます。
（お買い上げ時の設定は[切]）

マイク基準レベル

録音時のマイクレベルを選べます。
演奏会などで、臨場感のある音を録音したいときは[低]を選びます。

▶標準

周囲の音を一定のレベル内におさめて録音する。

低(🎤↓)

周囲の音を忠実に録音する。(日常の会話の録音などには適していません。)

セルフタイマー

[入]に設定すると ⏲ が表示されます。
PHOTOボタンを押すとカウントダウンが始まり、約10秒後に静止画を撮影します。
撮影を中止するには[リセット]をタッチする。
解除するには[切]をタッチする。

ちょっと一言

- リモコンのPHOTOボタンでも操作できます(95ページ)。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口（最後のページ）にお問い合わせください。

修理に出される場合のご注意

- 修理内容によってはハードディスクの初期化または交換が必要となることがあります。その場合、ハードディスク内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前にハードディスク内のデータを保存（バックアップ）してください（36ページ）。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。
- 修理において、不具合症状の発生/改善の確認のために、必要最小限の範囲でハードディスク内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製/保存することはありません。

全体操作/かんたん操作/リモコン

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける（13ページ）。
- ACアダプターをコンセントに差し込む（13ページ）。
- 本機をハンディカムステーションに正しく取り付ける（13ページ）。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取りはずし、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET（リセット）ボタン（92ページ）を先のとがったもので押す（すべての設定が解除されます）。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。

ボタンが操作できない。

- かんたん操作中は次のボタン/機能は使えません。
  - （逆光補正）ボタン（28ページ）
  - 再生ズーム（32ページ）
  - 液晶画面バックライトの切り換え（19ページ）

（オプション）ボタンが表示されない。

- かんたん操作中はオプションメニューは使えません。

メニュー項目の設定が変わっている。

- かんたん操作中、ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります。
- かんたん操作中、次のメニュー項目の設定は固定されます。
  - [録画モード]：[SP]
  - [日時/データ表示]：[日付時刻データ]
- 次のメニュー項目は、電源を「OFF (CHG)」にして12時間以上経つと自動的にお買い上げ時の設定に戻ります。
  - [フォーカス]
  - [スポットフォーカス]
  - [カメラ明るさ]
  - [スポット測光]
  - [シーンセレクション]

- [ホワイトバランス]
- [マイク基準レベル]
- [内蔵ズームマイク]
- [落下検出]
- [COLOR SLOW SHTR]
- [S.NIGHTSHOT PLS]

EASY(かんたん操作)ボタンを押してもメニュー設定が自動に切り換わらない。

- 次のメニュー項目はかんたん操作前の設定値が保持されます。
  - [動画メディア設定]
  - [静止画メディア設定]
  - [ファイルナンバー]
  - [音量]
  - [TVタイプ]
  - [表示枚数]
  - [操作音]
  - [インデックス設定]
  - [日時あわせ]
  - [エリア設定]
  - [サマータイム]
  - [ワイド切換]
  - [画像サイズ]
  - [デモモード]
  - [フラッシュモード]

本機があたたかくなる。

- 長時間電源を入れたままにしたためで、故障ではありません。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [リモコン]を[入]にする(66ページ)。
- 電池の+極と−極を正しく入れる(95ページ)。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。

リモコン操作中に他のDVD機器が誤動作する。

- DVD機器のリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

バッテリー /電源

電源が途中で切れる。

- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる(自動電源オフ)。[自動電源オフ]の設定を変更する(66ページ)か、もう一度電源を入れる、またはACアダプターを使用する。
- スリープモード中に[クイック オン時間]で設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。もう1度電源を入れてください。
- バッテリーを充電する(13ページ)。

バッテリーの充電中、CHGランプが点灯しない。

- POWERスイッチを「OFF (CHG)」にする(13ページ)。
- バッテリーを正しく取り付け直す(13ページ)。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している(13ページ)。
- 本機をハンディカムステーションに正しく取り付ける(13ページ)。

バッテリーの充電中、CHGランプが点滅する。

- バッテリーを正しく取り付け直す(13ページ)。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、ソニーの相談窓口(最後のページ)に問い合わせる。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されない

ときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（13ページ）。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。

バッテリーの消耗が速い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が速いときは寿命のため、新しいバッテリーに交換する（13ページ）。

液晶画面

メニュー項目が灰色で表示され、選択できない。

- その項目は選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります（79ページ）。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- DISP/BATT INFOボタン（またはリモコンの画面表示ボタン）を押す（19ページ）。

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- タッチパネルを調節（キャリブレーション）する（89ページ）。

"メモリースティック PRO デュオ"

"メモリースティック PRO デュオ"を入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット（初期化）した"メモリースティック PRO デュオ"を入れている場合は、本機で初期化する（52ページ）。

"メモリースティック PRO デュオ"の画像消去、フォーマットができない。

- 編集画面では、削除する静止画を1度に100枚までしか選択できません。
- 他機でプロテクトをかけた静止画は削除できません。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う（87ページ）。

撮影

「"メモリースティック PRO デュオ"」（76ページ）もご覧ください。

START/STOPボタンやPHOTOボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっている。POWERスイッチをずらして（動画）ランプまたは（静止画）ランプを点灯させる（25ページ）。
- メディアの空き容量がない。不要な画像を削除する（38ページ）。
- 動画のシーン数や静止画の枚数がメディアの撮影できる上限を超えている（59、85ページ）。不要な画像を削除する（38ページ）。
- [落下検出]（66ページ）動作中は、撮影できないことがあります。
- スリープモード中は撮影できません。[クイック オン]を解除する（27ページ）。
- 直前に撮影した画像をメディアに書きこんでいる。書きこんでいる間は、新たに撮影できません。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、温かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。

撮影を止めてもACCESSランプがついている。

- 撮影した画像をメディアに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど撮影環境や被写体の状態によっては録画可能時間が短くなります（57ページ）。

録画が止まる。

- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、温かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- 本機に振動を与えつづけると録画が停止することがあります。

START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

オートフォーカスができない。

- ［フォーカス］を［オート］にする（69ページ）。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる（69ページ）。

手ブレ補正ができない。

- ［手ブレ補正］を［入］にする（58ページ）。
- ［手ブレ補正］が［入］になっていても、手ブレが大きすぎると補正しきれないことがある。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。

- ［S.NIGHTSHOT PLS］、［COLOR SLOW SHTR］のときに出る現象で、故障ではありません。

画像の色が正しくない。

- NIGHTSHOT PLUSスイッチを「OFF」にする（27ページ）。

画面が白すぎて画像が見えない。

- NIGHTSHOT PLUSスイッチを「OFF」にする（27ページ）。

画面が暗すぎて画像が見えない。

- DISP/BATT INFOボタンを押したままにして液晶画面バックライトを点灯させる（19ページ）。

ろうそくの火やライトなど暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。

- 背景とのコントラストが強い被写体のときに出る現象で、故障ではありません。

明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる。

- スミア現象と呼ばれるもので、故障ではありません。

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- ［手ブレ補正］を［切］にする(58ページ)。

[S.NIGHTSHOT PLS]ができない。

- NIGHTSHOT PLUSスイッチが「ON」になっていない。

[COLOR SLOW SHTR]が正しくできない。

- まったく光のない場所では、[COLOR SLOW SHTR]が正しく働かないことがあるため、NightShot plusまたは[S.NIGHTSHOT PLS]で撮影する。

[パネルBLレベル]を調節できない。

- 次のとき、[パネルBLレベル]は調節できません。
  - 液晶画面を外側に向けて本体におさめているとき
  - ACアダプターを使用しているとき

再生

画像を再生できない

- 再生したい画像のメディアを (ホーム)→ (メディア管理)→[動画メディア設定]または、[静止画メディア設定]から設定する(20ページ)。

静止画が再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります(ファイル名が点滅)。故障ではありません(87ページ)。
- 他機で撮影した静止画は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません(87ページ)。

ビジュアルインデックスの静止画に ? が表示される。

- データの読み出しに失敗した可能性があります。電源を切ってもう一度入れたり、"メモリースティック PRO デュオ"を2、3回入れ直したりすると正しく表示される場合があります。
- 他機で撮影した静止画や、パソコンで画像加工した静止画などはこのように表示されることがあります。
- 撮影直後のACCESSランプ点滅中に本機からACアダプターやバッテリーをはずした。この操作をすると画像データが壊れて ? が表示されることがあります。

ビジュアルインデックスの画像に が表示される。

- [管理ファイル修復]を実行する(54ページ)。それでも消えない場合は が表示されている画像を削除する(38ページ)。

音声が小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする(30ページ)。
- 液晶画面を閉じていると音声は出ません。液晶画面を開く。
- [マイク基準レベル](73ページ)を[低]にして記録すると、音声が小さくなる場合がある。

他機での"メモリースティック PRO デュオ"再生

再生できない、または"メモリースティック PRO デュオ"が認識されない。

- 再生機器が"メモリースティック PRO デュオ"の再生に対応していません。

本機での編集

編集できない。

- 画像が記録されていない。
- 画像の状態により編集ができなくなっている。

プレイリストに追加できない。

- メディアの空き容量がない、または追加した動画数が99を超えている。不要な動画を削除する(45ページ)。
- 静止画はプレイリストに追加できません。

分割できない。

- 極端に記録時間の短い動画は分割できません。

• 他機でプロテクトをかけた動画は分割できません。

動画から静止画を作成できない。

• 静止画を記録するメディアの容量が足りない。

ダビング/外部機器接続

音声が聞こえない。

• S(S1、S2)映像プラグだけでつないでいるため。A/V接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ(34ページ)。

テレビにつないで見るときに正しい画像の比率で再生できない。

• [TVタイプ]をテレビに合わせて設定する(35ページ)。

A/V接続ケーブルを使ってダビングができない。

• A/V接続ケーブルが正しくつながれていない。他機の入力端子へつながれているか確認する(46ページ)。

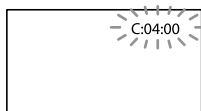
同時に使えない機能一覧

下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能	以下を設定してあるため
逆光補正	[シーンセレクション]の[打ち上げ花火]、[カメラ明るさ]の[マニュアル]、[スポット測光]
[ワイド切換]	[オールドムービー]
[オートスローシャッタ]	[S.NIGHTSHOT PLS]、[COLOR SLOW SHTR]、[デジタルエフェクト]、[シーンセレクション]、[フェーダー]
[スポットフォーカス]	[シーンセレクション]
[テレマクロ]	[シーンセレクション]
[カメラ明るさ]	NightShot plus、[S.NIGHTSHOT PLS]
[スポット測光]	NightShot plus、[S.NIGHTSHOT PLS]
[シーンセレクション]	NightShot plus、[S.NIGHTSHOT PLS]、[COLOR SLOW SHTR]、[オールドムービー]、[テレマクロ]、[フェーダー]
[ホワイトバランス]	NightShot plus、[S.NIGHTSHOT PLS]
[COLOR SLOW SHTR]	NightShot plus、[S.NIGHTSHOT PLS]、[デジタルエフェクト]、[シーンセレクション]、[フェーダー]
[S.NIGHTSHOT PLS]	[デジタルエフェクト]、[フェーダー]
[フェーダー]	[デジタルエフェクト]、[S.NIGHTSHOT PLS]、[COLOR SLOW SHTR]、[シーンセレクション]の[打ち上げ花火]、[キャンドル]
[デジタルエフェクト]	[S.NIGHTSHOT PLS]、[COLOR SLOW SHTR]、[フェーダー]
[オールドムービー]	[シーンセレクション]、[P.エフェクト]
[P.エフェクト]	[オールドムービー]
[マイク基準レベル]	[内蔵ズームマイク]

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面には、次のように表示されます。お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニーの相談窓口(最後のページ)にお問い合わせください。

C:(またはE:)□□:□□(自己診断表示)

C:04:□□

- "インフォリチウム"バッテリー Hシリーズ以外のバッテリーが使われている。必ず"インフォリチウム"バッテリー Hシリーズを使う(87ページ)。
- ACアダプターのDCプラグをハンディカムステーションまたは本機のDC IN端子にしっかりつなぐ(13ページ)。

C:13:□□/C:32:□□

- 電源をいったん取りはずし、取り付け直してからもう一度操作し直す。
- 電源を入れ直す。

E:20:□□ / E:31:□□ / E:61:□□ / E:62:□□ / E:91:□□ / E:94:□□

- 修理が必要なため、ソニーの相談窓口(最後のページ)にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

101-0001(ファイル関連の警告)

遅い点滅

- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル。

(本機のハードディスクに関する警告)*

速い点滅

- 本機のハードディスクドライブに異常が発生した可能性がある。

(本機のハードディスクに関する警告)*

速い点滅

- 本機のハードディスクドライブの容量がいっぱいである。
- 本機のハードディスクドライブに異常が発生した可能性がある。

(バッテリー残量に関する警告)

遅い点滅

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがある。

(温度の上昇関連の警告)

遅い点滅

- 本機の温度が上昇中である。
  電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

速い点滅*

- 本機の温度が著しく上昇している。
  電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

(温度の低下関連の警告)*

速い点滅

- 本機の温度が著しく低下している。
  本機を暖める。

("メモリースティック PRO デュオ"関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使える"メモリースティック"については、2ページをご覧ください。
- "メモリースティック PRO デュオ"が入っていない(21ページ)。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか、画像を保存(バックアップ)してから"メモリースティック PRO デュオ"を初期化する(36、38、52ページ)。
- 管理ファイルが壊れている(54ページ)。

(“メモリースティック PRO デュオ”初期化関連の警告)*

- “メモリースティック PRO デュオ”が壊れている。
- “メモリースティック PRO デュオ”が正しく初期化されていない(52、86ページ)。

(非対応“メモリースティック デュオ”関連の警告)*

- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”を入れた(86ページ)。

(“メモリースティック PRO デュオ”誤消去防止に関する警告)*

- 他機でアクセスコントロールをかけた“メモリースティック PRO デュオ”を使っている。

(フラッシュ関連の警告)

速い点滅

- フラッシュに異常がある。

(手ブレ警告)

- 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使う。
- 手ブレが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ブレマークは消えません。

(落下検出警告)

- 落下検出機能(66ページ)が有効で、かつ落下を検出したため、ハードディスクを保護する処理を実行している。画像の撮影/再生ができなくなることがあります。
- 本機能は、すべての状況からの保護を保証するものではありません。本機を安定した状態に保ってご使用ください。

(静止画撮影に関する警告)

- メディアの容量がいっぱいです。
- 処理中のため、一時的に静止画記録できません。しばらく待ってから撮影してください。

* 警告表示・お知らせメッセージが出るときに、「操作音」が鳴ります(63ページ)。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

■ メディア

HDDがフォーマットエラーです

- 本機のハードディスクが、お買い上げ時と異なるディスクフォーマットになっている。[メディア初期化](52ページ)を行うと使えることがあります。その場合データはすべて消去されます。

データエラーが発生しました

- 本機のハードディスクへの書き込み中、または読み出し中にエラーが生じた。本機に振動を与えつづけたときに、発生することがあります。

管理ファイルが破損しています　新規作成しますか?

- 画像管理用ファイルが破損している。
  [はい]をタッチすると管理ファイルが新規作成されます。本機のハードディスクにある過去に撮影した画像が、本機で再生できなくなります(画像ファイルは壊れません)。
  新規作成後[管理ファイル修復]を実行すると、過去に撮影した画像が再生できるようになる場合もあります。

それでも再生できない場合、付属のソフトウェアを使用してパソコンに画像ファイルをコピーする。

管理ファイルに不整合が見つかりました 修復しますか?
管理ファイルが破損しています 修復しますか?

- 管理ファイルが破損しているので、動画/静止画撮影ができません。[はい]をタッチして修復する。
- "メモリースティック デュオ"への静止画撮影は可能です。

バッファオーバー

- 落下検出が繰り返されたため、録画できない。落下が繰り返し発生する環境で撮影する場合は、[落下検出]を[切]にすると録画できる場合があります(66ページ)。

データ修復中

- 本機のハードディスクに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みる。

データを修復できませんでした

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。本機のハードディスクへの書き込みや編集ができなくなる場合がある。

メモリースティックを入れなおしてください

- "メモリースティック PRO デュオ"を2、3回入れ直す。それでも表示されるときは"メモリースティック PRO デュオ"が壊れている可能性があるので交換する。

このメモリースティックはフォーマットが違います

- "メモリースティック PRO デュオ"のフォーマットを確認し、必要ならば本機で初期化する(52ページ)。

メモリースティックのフォルダがいっぱいです

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダの作成、消去はできません。
- 初期化するか(52ページ)、パソコンで不要なフォルダを消去する。

このメモリースティックは動画を記録・再生できない可能性があります

- 本機での使用をおすすめしている"メモリースティック"をお使いください(86ページ)。

このメモリースティックは正常に記録・再生できない可能性があります

- "メモリースティック PRO デュオ"の機能に何らかの異常が認められました。もう一度"メモリースティック PRO デュオ"を入れなおしてください。
- ソニーの相談窓口(最後のページ)にお問い合わせください。

書き込み中にメモリースティックが抜かれました データが壊れた可能性があります

- "メモリースティック PRO デュオ"をもう一度入れて、画面の指示に従う。

■ PictBridge対応プリンター

PictBridge対応プリンターと接続されていません

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう一度つなぐ。

プリントできません プリンターを確認してください

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう一度つなぐ。

■ その他

これ以上選択できません

- 次のときは1度に100個までしか画像を選択できません。
  - 動画のダビング
  - 静止画のコピー
  - 画像の削除
  - 静止画の印刷

このデータはプロテクトされています

- 他の機器でプロテクトされた静止画を削除しようとした。プロテクトをかけた機器で解除する。

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V、50/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

カラーテレビ方式について

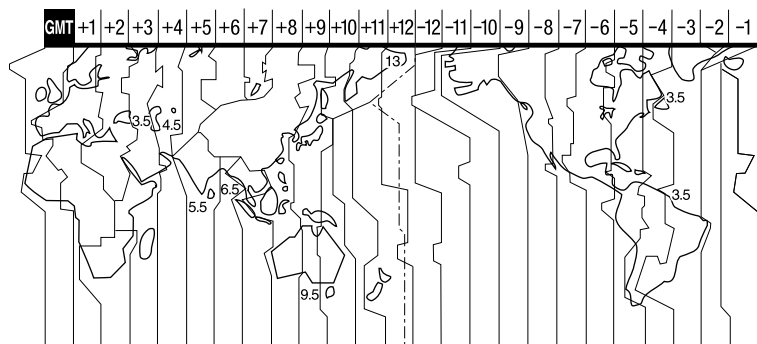
再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC、下記参照）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

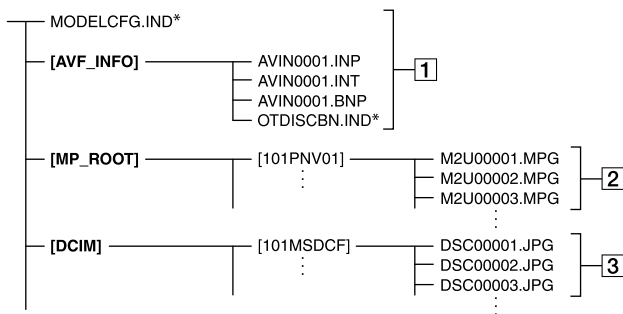
テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

現地の時間に合わせるには

海外で使うときは、（ホーム）→（設定）→［時計設定］の［エリア設定］と［サマータイム］を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます（65ページ）。

世界時刻表

ハードディスク/“メモリースティック PRO デュオ”のファイル/フォルダ構成

本機のメディア上のファイル/フォルダ構成は以下のとおりです。本機を使って撮影/再生する際は、通常、意識する必要はありません。
パソコンとつないで撮影した動画や静止画を楽しむには、「PMB ガイド」をご覧になり、付属のソフトウェアを使用してください。

* 内蔵ハードディスクのみ

1 **画像管理用ファイル**
削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。
隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

2 **動画ファイル(MPEG2ファイル)**
拡張子は「.MPG」。ファイルサイズの上限は2GBです。2GBを超えると自動でファイルが分割されます。
ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダが作成されて、新しい動画ファイルはそちらに記録されます。
フォルダ名は、「101PNV01」→「102PNV01」のように繰り上がります。

3 **静止画ファイル(JPEGファイル)**
拡張子は「.JPG」。ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダが作成されて、新しい静止画ファイルはそちらに保存されます。
フォルダ名は、「101MSDCF」→「102MSDCF」のように繰り上がります。

- 本機のメディアは、(ホーム) → (その他の機能) → [USB接続] → [USB接続]/[USB接続]をタッチして本機とパソコンをUSB接続することで、パソコンからアクセス可能になります。
- 付属のソフトウェアを使わずに、パソコンから本機のファイルやフォルダを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。
- 付属のソフトウェアを使わずに、パソコンから本機のメディア上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- パソコンから本機のメディアをフォーマット(初期化)しないでください。正常に動作しなくなります。
- パソコンから本機のメディアにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- フォルダ番号が999に達し、かつファイル番号が9999に達したとき、撮影できなくなる場合があります。この場合は、[メディア初期化](52ページ)してください。

使用上のご注意とお手入れ

“メモリースティック”について

“メモリースティック”（“Memory Stick”）は小さくて軽いのに大容量のIC記録メディアです。
すべての“メモリースティック”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録/再生
メモリースティック デュオ（マジックゲート対応）	—
メモリースティック PRO デュオ	○
メモリースティック PRO-HG デュオ	○*

* 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、“メモリースティック PRO デュオ”と同等の4ビットパラレルデータ転送を行ないます。

- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録/再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。
- 本製品は“メモリースティック マイクロ”（“M2”）に対応しています。“M2”は“メモリースティック マイクロ”の略称です。
- コンピュータ（Windows OS/Mac OS）でフォーマット（初期化）した“メモリースティック PRO デュオ”は、本機での動作を保証いたしません。
- お使いの“メモリースティック PRO デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。
  - 画像ファイルを読み込み中や、“メモリースティック PRO デュオ”にデータを書き込み中（ACCESSランプが点灯中および点滅中）に、“メモリースティック PRO デュオ”を取り出したり、本機の電源を切ったり、バッテリーを取りはずした場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック PRO デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック PRO デュオ”に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- メモリースティック デュオ スロットには、“メモリースティック PRO デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■ メモリースティック デュオ アダプターの使用について

- “メモリースティック PRO デュオ”を“メモリースティック PRO”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック PRO デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。
- “メモリースティック PRO デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。また、逆向きで無理に入れると、メモリースティック デュオ スロットが破損し故障の原因となります。

- メモリースティック デュオ アダプターに“メモリースティック PRO デュオ”が装着されない状態で、“メモリースティック PRO”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

■ “メモリースティック PRO デュオ”についてのご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は8GBまでです。

■ “メモリースティック マイクロ”使用上のご注意

- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をデュオサイズのM2アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズのM2アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック マイクロ”は、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

画像の互換性について

- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900、DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“メモリースティック PRO デュオ”が本機で使えないときは、52ページの手順にしたがい本機で初期化をしてください。初期化すると“メモリースティック PRO デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  - パソコンで加工した画像データ
  - 他機で撮影した画像データ

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー（Hシリーズ）のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリー（Hシリーズ）には InfoLITHIUM H SERIES マークがついています。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター /チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10 ～ 30℃の範囲で、CHGランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACアダプターをハンディカムステーションまたは本機のDC IN端子から抜き、バッテリーを取りはずしてください。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  - バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける
  - 高容量バッテリー「NP-FH70/FH100」（別売り）を使う
- 液晶パネルの使用や再生/早送り/早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FH70/FH100」（別売り）のご使用をおすすめします。

- 撮影や再生を行っていないときは、こまめにPOWERスイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2 ～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、(ホーム)→ (設定)→[一般設定]→[自動電源オフ]→[なし]に設定し、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(66ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やレンズが太陽に向いたままとなる場所(窓際や室外など)
  液晶画面を傷めます。

■ 長時間使用しないときは

- 本機の性能を維持するために定期的に電源を3分間入れ、撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

■ 結露が起きたときは

電源を切って、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち

出したとき
- スコールや夏の夕立の後
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でお使いになると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

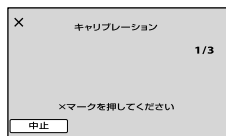
■ お手入れ

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。
別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶パネルにかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

■ タッチパネルの調節(キャリブレーション)について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。
このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ってください。

① 本機の電源を入れる。

② (ホーム)→ (設定)→[一般設定]→[キャリブレーション]をタッチする。

③ "メモリースティック PRO デュオ"の角のような先の細いものを使って、画面に表示される×マークを3回タッチする。
×マークの位置は変わります。
解除するには[中止]をタッチする。

正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

ご注意

- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶画面を傷つける場合があります。
- 液晶画面を反転させているときや、外側に向けて本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う
  - ゴムやビニール製品との長時間接触

カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。

- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、**3か月近く**まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

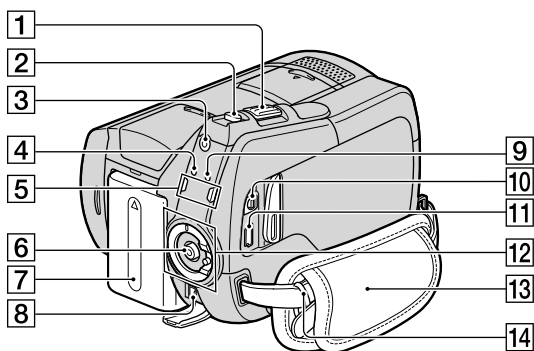
■ 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF (CHG)」にして24時間以上放置する。

"メモリースティック PRO デュオ"を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、"メモリースティック PRO デュオ" 内のデータは完全には消去されないことがあります。"メモリースティック PRO デュオ" を譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また "メモリースティック PRO デュオ" を廃棄するときは、"メモリースティック PRO デュオ" 本体を物理的に破壊することをおすすめします。

各部のなまえ

（　）内は参照ページです。

1 ズームレバー（27、32）

2 PHOTO（フォト）ボタン（22、25）

3 QUICK ON（クイック　オン）ボタン（27）

4 CHG（充電）ランプ（13）

5 （動画）ランプ/ （静止画）ランプ（17）

6 START/STOPボタン（22、25）

7 バッテリーパック（13）

8 DC IN 端子（13）

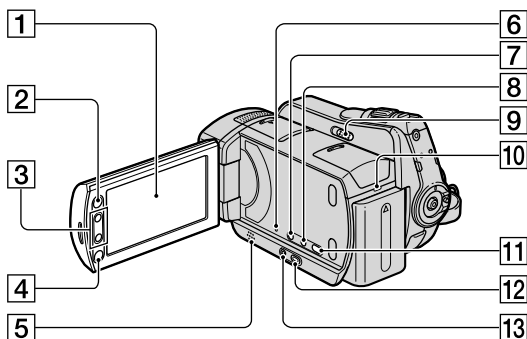
9 ACCESS（アクセス）ランプ（ハードディスク）（25）

10 A/V リモート端子（34、46）

11 （USB）端子（47、49）

12 POWER（電源）スイッチ（17）

13 グリップベルト（19）

14 ショルダーベルト取り付け部
ショルダーベルト（別売り）を取り付けます。

1 液晶画面/タッチパネル(19)

2 🏠(ホーム)ボタン(10、55)

3 ズームボタン(27、32)

4 START/STOPボタン(22、25)

5 スピーカー
再生時の音声が聞けます。音量調節については、30ページをご覧ください。

6 RESET(リセット)ボタン
日時を含めすべての設定が解除される。

7 (逆光補正)ボタン(28)

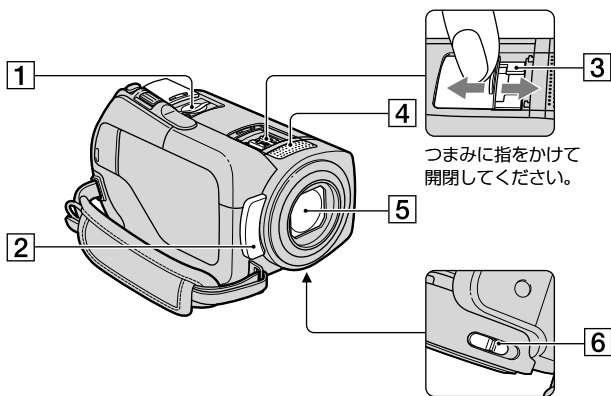
8 DISP/BATT INFO(画面表示/バッテリーインフォ)ボタン(14、19)

9 NIGHTSHOT PLUSスイッチ(27)

10 ACCESS(アクセス)ランプ("メモリースティック PRO デュオ")(21)

11 (ワンタッチ ディスク)ボタン(36)

12 (画像再生)ボタン(23、29)

13 EASY(かんたん操作)ボタン(22)

1 メモリースティック デュオ スロット（21）

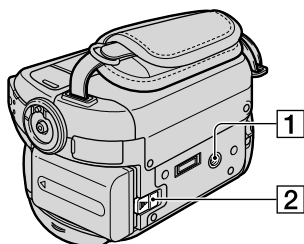
2 リモコン受光部/赤外線発光部
リモコン(95ページ)は、リモコン受光部に向けて操作します。

3 アクティブインターフェースシュー
Active Interface Shoe
専用マイクや別売りのフラッシュなどを使うときに、本機から電源供給し、本機のPOWERスイッチに連動して接続機器の電源の入/切ができます。お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。
接続機器がはずれにくい構造になっています。取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、ネジを確実に締め付けてください。取りはずすときは、ネジをゆるめ、上から押しながらはずしてください。

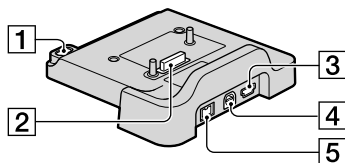
- 別売りのフラッシュを付けたまま撮影するときは、充電音が録音されないように、フラッシュの電源を切ってください。
- 外部マイクをつなぐと、その音声が内蔵マイクよりも優先されます。

4 内蔵マイク

5 レンズ（カールツァイスレンズ搭載）（3）

6 LENS COVER（レンズカバー） スイッチ(19ページ)

1 三脚用ネジ穴
三脚（別売り、ネジの長さが5.5mm以下）を三脚用ネジ穴に取り付けられます。

2 BATT（バッテリー）取りはずしつまみ（14）

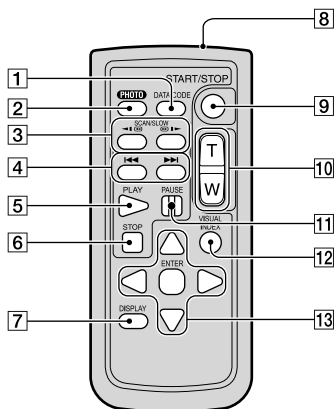
ハンディカムステーション

1 ⊕（ワンタッチ ディスク）ボタン（36）

2 インターフェースコネクタ

3 ψ（USB）端子（49）

4 A/V OUT端子（34、46）

5 DC IN端子（13）

ワイヤレスリモコン

1 DATA CODE（データコード）ボタン（61）
再生中に押すと、日付時刻データ/カメラデータを表示します。

2 PHOTO（フォト）ボタン（22、25）
押したときの画像が静止画として記録されます。

3 SCAN/SLOW（スキャン/スロー）ボタン（23、30）

4 ⏮ ⏭（前の画像/次の画像）ボタン（24、30）

5 PLAY（再生）ボタン（23、30）

6 STOP（停止）ボタン（23、30）

7 DISPLAY（画面表示）ボタン（14）

8 リモコン発光部

9 START/STOP（スタート/ストップ）ボタン（22、25）

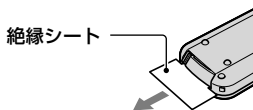
10 ズームボタン（27、32）

11 PAUSE（一時停止）ボタン（23、30）

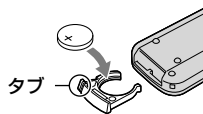
12 VISUAL INDEX（ビジュアルインデックス）ボタン（23、29）
再生中に押すと、ビジュアルインデックス画面を表示します。

13 ◀ / ▶ / ▲ / ▼ / ENTER（決定）ボタン
ビジュアルインデックス/プレイリスト画面で、いずれかのボタンを押すと、本機の画面にオレンジ色の枠が表示されます。◀ / ▶ / ▲ / ▼ で画面上の希望のボタンまたは項目を選び、ENTER（決定）ボタンを押す。

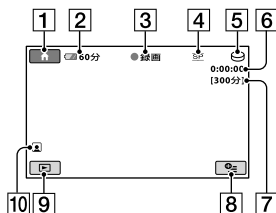
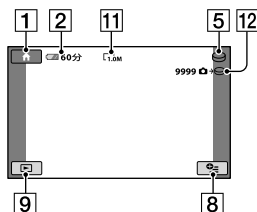
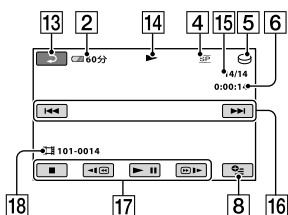
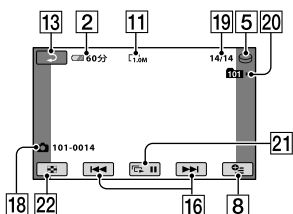
ご注意

- 絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

- 本機前面のリモコン受光部に向けて操作してください（93ページ）。
- 一定時間リモコンからの操作がないと、オレンジ色の枠は消えます。再び ◀ / ▶ / ▲ / ▼ またはENTER（決定）ボタンのいずれかを押すと、最後に表示されていた位置に枠が表示されます。
- ◀ / ▶ / ▲ / ▼ で操作できないボタンもあります。

リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引出す。
② ＋面を上にして新しい電池を入れる。
③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

画面表示

動画を撮影中

静止画を撮影中

動画を再生中

静止画を再生中

1 ホームボタン（10）

2 バッテリー残量の目安（14）

3 撮影状態（［スタンバイ］/［● 録画］）

4 録画モード（HQ/SP/LP）（57）

5 メディアアイコン（20）

6 カウンター（時：分：秒）

7 記録残量時間

8 オプションボタン（67）

9 画像再生ボタン（23、29）

10 フェイスインデックス設定（58）

11 画像サイズ（59）

12 およその静止画撮影可能枚数とメディア、または静止画記録中

13 戻るボタン

14 再生表示

15 再生中の動画の番号/記録している動画の数

16 前の画像/次の画像ボタン（23、30）

17 動画操作ボタン（23、30）

18 データファイル名

19 再生中の静止画の番号/記録している静止画の数

20 再生フォルダ
静止画の再生メディアが“メモリースティック PRO デュオ”のときのみ表示されます。

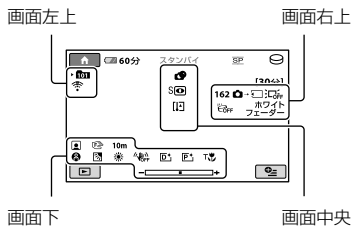
21 スライドショーボタン（33）

22 ビジュアルインデックス表示ボタン（23、29）

液晶画面の表示

撮影/再生中や、設定を変更したときに次の表示が出ます。

画面左上　　　　　　　　画面右上

画面下　　　　　　　　画面中央

画面左上

表示	意味
	セルフタイマー(73)
	フラッシュ /赤目軽減(60)
	マイク基準レベル低(73)
4:3	ワイド切換(57)
	内蔵ズームマイク(72)

画面右上

表示	意味
ホワイト フェーダー ブラック フェーダー	フェーダー(72)
	液晶バックライト切(19)
	落下検出切(66)
	落下検出中(66)
	静止画保存メディア(20)

画面中央

表示	意味
1.0M VGA 0.2M 0.7M	画像サイズ(59)
	スライドショー設定(33)
	NightShot plus(27)
S	Super NightShot plus(72)
	Color Slow Shutter(71)

表示	意味
	PictBridge接続中 (49)
	警告(80)

画面下

表示	意味
	ピクチャーエフェクト(72)
	デジタルエフェクト(72)
	手動フォーカス(69)
	シーンセレクション(70)
	逆光補正(28)
	ホワイトバランス(71)
	手ブレ補正切(58)
	カメラ明るさ(70)/フレキシブルスポット測光(70)
T	テレマクロ(69)
	フェイスインデックス設定(58)

表示内容/位置は目安であり、実際と異なることがあります。

撮影時のデータについて

撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に日付時刻データ/カメラデータとして確認できます(61ページ)。

用語集

■ JPEG（ジェイペグ）

Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画データの圧縮（データ容量を小さくする）方法のことです。本機では、静止画をJPEG形式で記録します。

■ MPEG（エムペグ）

Moving Picture Experts Groupの略で、映像（動画）および音声の符号化（画像圧縮の方法）に関する規格の総称です。MPEG1、MPEG2などの規格があります。本機では動画をMPEG2形式で記録します。

■ VBR

Variable Bit Rate（可変ビットレート）の略で、撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量）を自動調節させる記録方式です。動きの速い映像はハードディスクの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、メディアの記録時間は短くなります。

■ サムネイル

多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。本機では、「ビジュアルインデックス」、「 インデックス」、「インデックス」がサムネイルを使った表示方法です。

■ フラグメンテーション

メディア内のファイルが断片化されることです。フラグメンテーションが起きると、画像が正しく保存できなくなることがあります。[メディア初期化]（52ページ）を行うと断片化が解消されます。

索引

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

数字

各部のなまえ・用語集・索引

商標について

- “ハンディカム”、HANDYCAM はソニー株式会社の登録商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK ™、“メモリースティック デュオ”、MEMORY STICK DUO、“メモリースティック PRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、MEMORY STICK PRO-HG DUO、“メモリースティック マイクロ”、“マジックゲート”、MAGICGATE、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート メモリースティック”、“MagicGateMemory Stick Duo”、“マジックゲート メモリースティック デュオ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vista、DirectXはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe System Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA. L.L.C.,（住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206）より取得可能です。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウエアである「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」が搭載されております。当該ソフトウエアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては同梱CD-ROMに記載されていますので以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」の記載（英文）が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウエアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名DCR-DVD810をお選びください。

http://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載（英文）が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.adobe.com/

■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

ハンディカムの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）
http://www.sony.co.jp/cam/support/

ハンディカムホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

メモリースティック対応表
http://www.sony.co.jp/mstaiou
使用可能な"メモリースティック"を確認することができます。

付属ソフトウェア（Picture Motion Browser）のサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

●使い方相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2511
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

●修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/

FAX（共通）:0120-333-389
受付時間:月～金 9:00 ～ 20:00　土·日·祝日 9:00 ～ 17:00

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

> 登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
> 詳しくは下記のURLをご覧ください。
> http://www.sony.co.jp/cam/contact/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/